



iTERAN／AE
イオン（BMS 1． 3）
請求テスト手順書

【 第 1.2 版 】

2020 年 12 月 01 日

富士通 Japan 株式会社

目次

1.	はじめに	1
2.	請求テストの流れ.....	2
3.	iTERAN／AE バージョンの確認	4
4.	請求データの作成.....	5
4-1.	受信した受領／返品データを元に、請求データを作成する	5
5.	請求データの送信.....	11
5-1.	請求データを送信する前の確認	11
5-2.	作成した請求データを送信する	14
6.	請求テスト申込書・請求テストメッセージ明細表の作成.....	20
6-1.	請求送信明細リストの出力.....	20
6-2.	請求テスト申込書の作成	23
6-3.	請求テストメッセージ明細表の作成	26
6-4.	請求テスト申込書・請求テストメッセージ明細表作成例	28
7.	本番稼動前の準備と注意事項（必ずお読みください）	31
7-1.	iTERAN／AE の請求送信モード切替.....	31
7-2.	テストで送信したデータを本番モードで送信するための準備	33
7-3.	本番運用開始時の注意事項.....	37
補足1.	作成した請求データの伝票数を変更する	38
補足2.	請求再テスト前の準備	42
補足3.	バージョンアップ手順	46

1. はじめに

本書は、イオン（BMS1.3）の請求テストのテスト手順書になります。
請求テスト時にのみご利用ください。

※本書では WindowsXP の画面例を記載しています。Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 では動作が若干異なる場合があります。

2. 請求テストの流れ

①iTERAN/AE のバージョン確認

iTERAN/AE のバージョンを確認します。 ⇒ P 4 「3. iTERAN/AE バージョンの確認」



②iTERAN/AE のバージョンアップ

手順①で確認したバージョンが **7.6.0** 以下である場合、バージョンアップします。

以下を参照し、事前にバージョンアップを行なってください。

⇒ P 4 6 「補足3. バージョンアップ手順」

※バージョンが **7.6.1** 以上の場合はバージョンアップする必要はありません。



③iTERAN/AE にて請求データの作成

請求先（支払法人）ごとに請求データを作成します。 ⇒ P 5 「4. 請求データの作成」

※請求先（支払法人）全てに対してテストが必要です。



④iTERAN/AE にて請求データの送信

作成した請求データを送信します。 ⇒ P 1 1 「5. 請求データの送信」

※請求先（支払法人）ごとに送信が必要です。



⑤請求テスト申込書・請求テストメッセージ明細表の作成、FAX 送付

請求テスト申込書に必要事項を記載します。

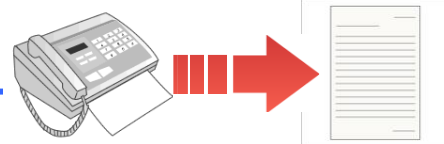
請求テストメッセージ明細表に送信した請求データの内容を記載します。

⇒ P 2 0 「6. 請求テスト申込書・請求テストメッセージ明細表の作成」

記載した請求テスト申込書・請求テストメッセージ明細表を FAX にて
イオンアイビス東京センター様へ送付します。

※請求データを送信した当日中に提出する必要があります。





⑥テスト結果の通知

請求データを送信した翌日にテスト結果がイオンアイビス東京センター様より FAX にて送付されます。
※請求テストを実施する取引先様が多数の場合はテスト結果が翌々日以降になることがあります。

★合格の場合★

手順⑦にお進みください。

★不合格の場合★

不合格の場合は再度請求テストを実施する必要があります。

P 4 2 「補足 2. 請求再テスト前の準備」を実施後、
手順③に戻り、再度請求テストを行なってください。



⑦本番稼働開始前の準備

請求テストに合格した場合、本番稼働の準備をします。

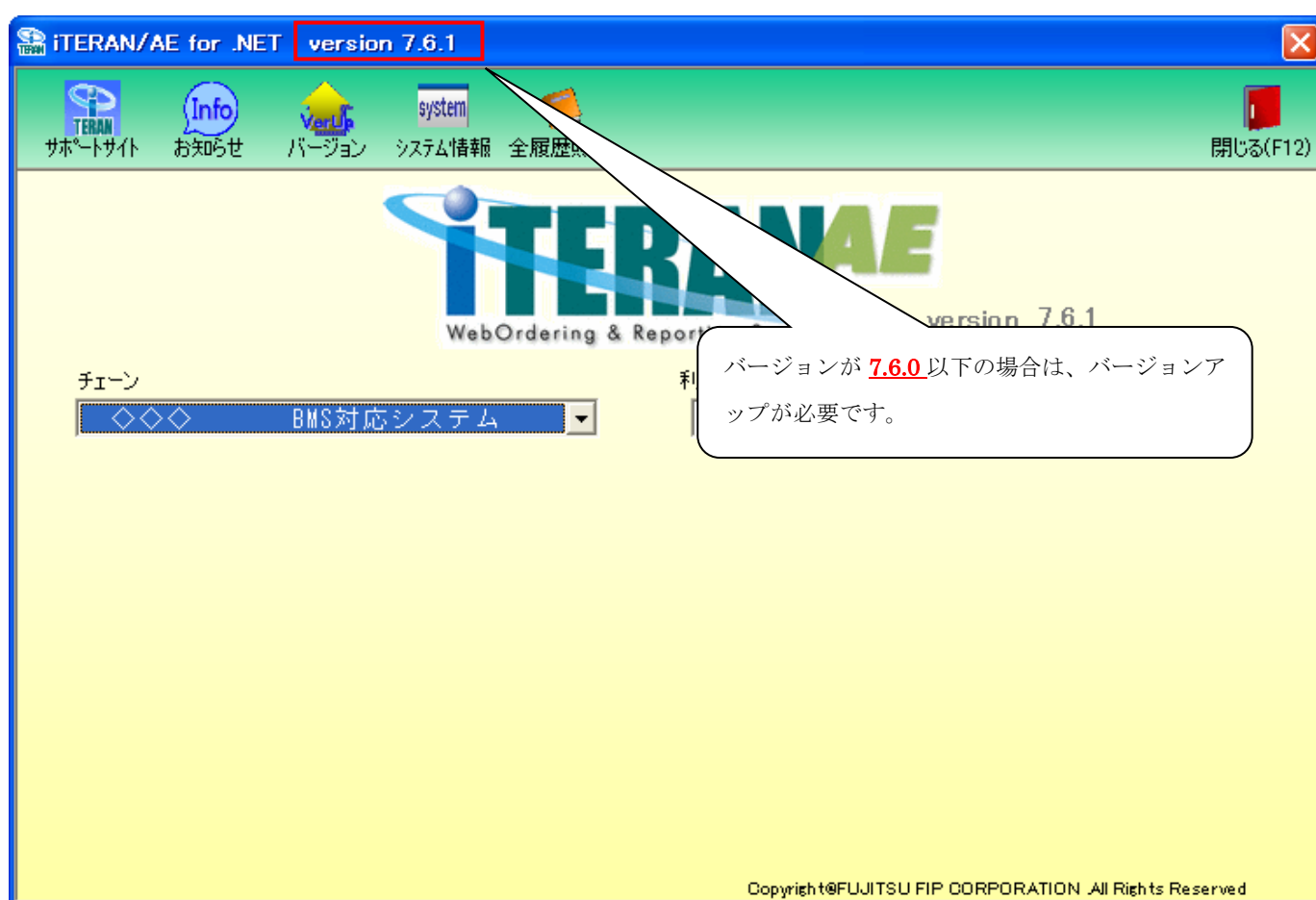
※本番稼働開始前に必ず実施してください。

実施しない場合、本番請求時に請求漏れを起こす可能性があります。

⇒P 3 1 「7. 本番稼働前の準備と注意事項（必ずお読みください）」

3. iTERAN/AE バージョンの確認

デスクトップの『iTERAN/AE』ショートカットから iTERAN/AE を起動します。



※バージョンが **7.6.1** 以上の場合は、バージョンアップの必要はありません。

バージョンが **7.6.0** 以下の場合は、バージョンアップを実施してください。

バージョンアップの方法は、P 4 6 「補足 3. バージョンアップ手順」を参照してください。

4. 請求データの作成

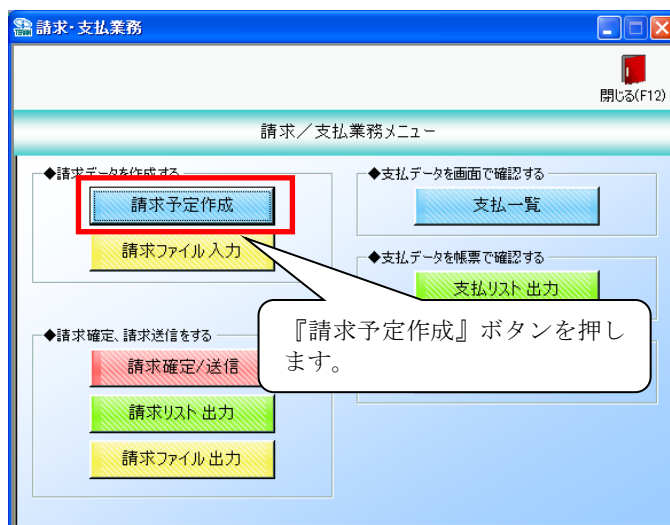
4-1. 受信した受領／返品データを元に、請求データを作成する

※複数利用会社（取引先コード）での請求テストを実施する際は、下記手順を利用会社（取引先コード）ごとに実施してください。

4-1-1. iTERAN/AE を起動後、チェーンを「9999900000001：イオン（BMS 1. 3）」、利用会社を請求テスト対象の利用会社（取引先コード）を選択し、「請求／支払」ボタンを押します。



4-1-2. 表示された請求・支払業務メニューの「請求予定作成」ボタンを押します。



4-1-3. 表示された請求予定作成画面の「作成」ボタンを押します。

請求予定作成

作成(F2) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マスター(F10) 支払法人マスター(F11) 請求予定リスト(F6) 開じる(F12)

請求サマリ情報

総伝 総請求金額合計

支払法人

請求データ絞込条件

請求フラグ区分: 0請求対象外 請求内容: 0未請求データ 計上日: ~ 取得

支払法人: 計上部署: 取引番号: ~

請求データ一覧

ED請求		EDI外請求		計上部署		商品分類(大)		請求金額		税区分		支払内容	
対象	請求状態	計上日	取引先コード	支払法人コード	発注者コード	計上部署コード	商品分類(大)	請求金額	税区分	支払内容	請求区分	請求区分	請求区分

一括してチェックする 一括してチェックを外す

請求対象データを更新

4-1-4. 「請求データ一覧」に、受信した受領／返品データを元に作成された請求候補のデータが表示されます。

請求予定作成

作成(F2) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マスター(F10) 支払法人マスター(F11) 請求予定リスト(F6) 開じる(F12)

請求サマリ情報

総伝 総請求金額合計

支払法人

請求データ絞込条件

請求フラグ区分: 0請求対象外 請求内容: 0未請求データ 計上日: ~ 取得

支払法人: 計上部署: 取引番号: ~

請求データ一覧

ED請求		EDI外請求		計上部署		商品分類(大)		請求金額		税区分		支払内容	
対象	請求状態	計上日	取引先コード	支払法人コード	発注者コード	計上部署コード	商品分類(大)	請求金額	税区分	支払内容	請求区分	請求区分	請求区分
	0未請求	20120413	111111	0105	0105	10	11	44,000	02原価外税	1001仕入明			
		900025	テストヒキサキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	11	2,200					
	0未請求	20120413	111111	0105	0105	1002	11	54,000	02原価外税	1001仕入明			
		900026	テストヒキサキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	11	2,700					
	0未請求	20120413	111111	0105	0105	1003	11	21,000	02原価外税	1001仕入明			
		900027	テストヒキサキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	11	1,050					
	0未請求	20120413	111111	3100	3100	1007	11	44,000	02原価外税	1001仕入明			
		900055	テストヒキサキ1	マックスバリュカントウ	マックスバリュカントウ	999	11	2,200					

一括してチェックする 一括してチェックを外す

請求対象データを更新

4-1-5. 「請求データ絞込条件」の「支払法人」から請求データを作成する請求先を選択します。

請求予定作成

作成(F2) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マスク(F10) 支払法人マスク(F11) 請求予定リスト(F6) 開じる(F12)

請求サマリ情報

総伝票件数計 総請求金額合計

0 0

支払法人 伝票件数計 請求金額合計 計上部署

支払法人 計上部署 伝票件数計 請求金額合計 一覧

請求データ絞込条件

請求フラグ区分 0:請求対象外 請求内容 0:未請求データ 計上日 ~

支払法人 計上部署 取引番号 ~ 取得

請求データ一覧

対象	請求状態	計上日	取引先コード	支払法人コード	発注者コード	計上部署コード	商品分類(大)	請求金額	税区分	支払内容
	0:未請求	20120413	111111	0105	0105	11	11	44,000	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	900025	テストヒキザキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	999	2,200	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	20120413	111111	0105	0105	1002	11	54,000	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	900026	テストヒキザキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	999	2,700	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	20120413	111111	0105	0105	1003	11	21,000	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	900027	テストヒキザキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	999	1,050	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	20120412	111111	0105	0105	1004	11	44,000	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	900022	テストヒキザキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	999	2,200	02:原価外税2	1001:仕入明

一括してチェックする 一括してチェックを外す

請求対象データを更新

※ 請求テスト時は不要ですが、本番運用時は必ず「計上日」の範囲を選択してください。
本番運用時に「計上日」の範囲選択を実施しないと、請求漏れや二重請求する可能性があります。



4-1-6. 「請求データ一覧」に、選択した請求先（支払法人）のみの請求候補のデータが表示されます。

請求予定作成

作成(F2) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マスク(F10) 支払法人マスク(F11) 請求予定リスト(F6) 開じる(F12)

請求サマリ情報

総伝票件数計 総請求金額合計

0 0

支払法人 伝票件数計 請求金額合計 計上部署

支払法人 計上部署 伝票件数計 請求金額合計 一覧

請求データ絞込条件

請求フラグ区分 0:請求対象外 請求内容 0:未請求データ 計上日 ~

支払法人 0105:イオンテール GMS 計上部署 取引番号 ~ 取得

請求データ一覧

対象	請求状態	計上日	取引先コード	支払法人コード	発注者コード	計上部署コード	商品分類(大)	請求金額	税区分	支払内容
	0:未請求	20120413	111111	0105	0105	11	11	44,000	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	900025	テストヒキザキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	999	2,200	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	20120413	111111	0105	0105	1002	11	54,000	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	900026	テストヒキザキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	999	2,700	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	20120413	111111	0105	0105	1003	11	21,000	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	900027	テストヒキザキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	999	1,050	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	20120412	111111	0105	0105	1004	11	44,000	02:原価外税2	1001:仕入明
	0:未請求	900022	テストヒキザキ1	イオンテール GMS	イオンテール GMS	999	999	2,200	02:原価外税2	1001:仕入明

一括してチェックする 一括してチェックを外す

請求対象データを更新

4-1-7. 「請求データ一覧」内の、請求する伝票の「対象」チェックボックスにチェックします。

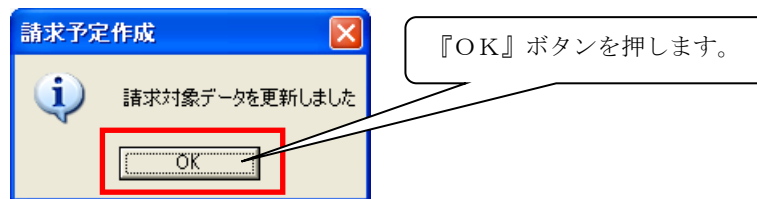
★10～30伝票の範囲でチェックします。

※ 請求先（支払法人）の表示された請求候補データが9伝票以下の場合は、全ての伝票にチェックしてください。（最低2伝票必要です）

※ 請求対象に追加した請求先（支払法人）の対象伝票数が30伝票を超えた状態で請求データを作成、送信した場合、請求テストが不合格になりますのでご注意ください。

4-1-8. 「請求対象データを更新」ボタンを押します。

4－1－9．更新完了メッセージが表示されます。OKボタンを押してください。



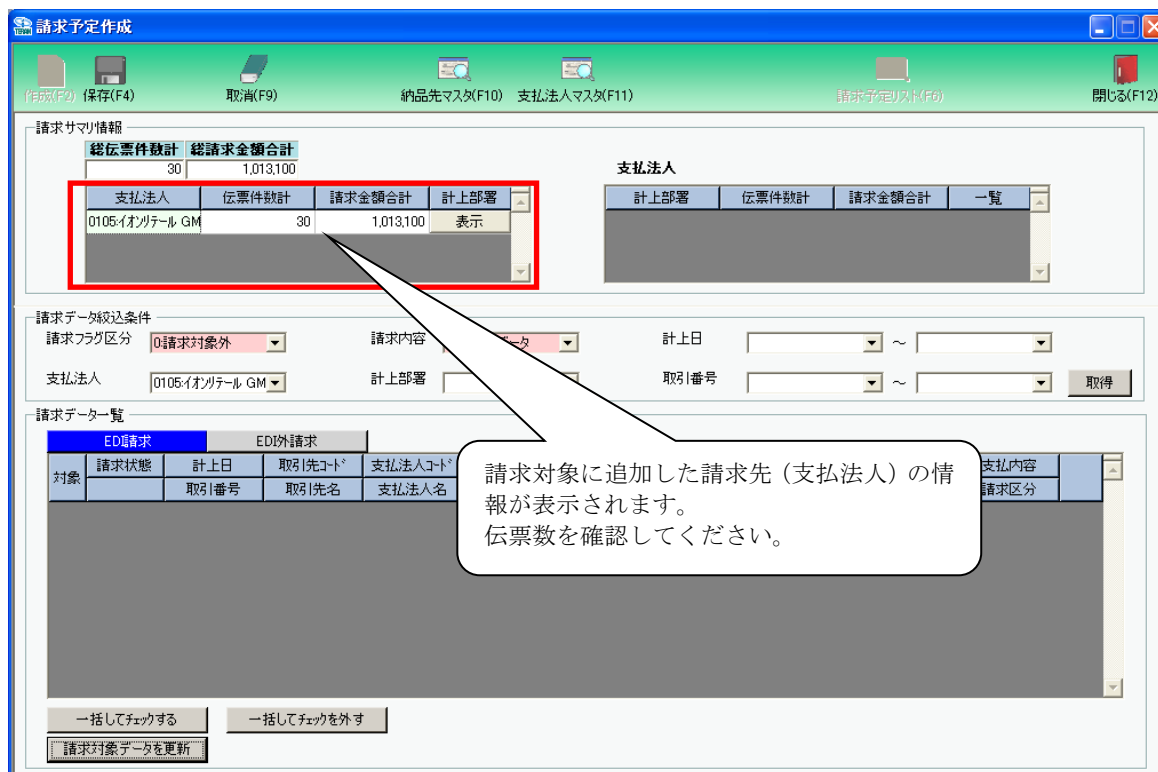
4－1－10．「請求サマリ情報」内に作成した請求先（支払法人）の情報が表示されます。

「伝票件数計」に表示されている伝票数が10～30伝票であることを確認してください。

※ 請求候補データが9伝票以下だった場合は2伝票以上となっていることを確認してください。

※ 「伝票件数計」に表示される伝票数を変更する場合は以下を参照してください。

⇒ P38「補足1．作成した請求データの伝票数を変更する」



4－1－11．請求先が複数存在する場合は、「請求データ絞込条件」の「支払法人」を選択し直し、「4－1－5」～「4－1－10」を実施してください。

※ 請求先が1つの場合は、実施する必要はありません。

4-1-1 2. 全請求先（支払法人）の請求データを作成し終えたら、「保存」ボタンを押します。

※「保存」ボタンを押さないと、作成した請求データが無効になります。

請求予定作成

作成(F2) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マスタ(F10) 支払法人マスタ(F11) 請求予定リスト(F6) 閉じる(F12)

請求サマリ情報

総伝票件数計	総請求金額合計
90	3,038,000

『保存』ボタンを押します。

支払法人	伝票件数計	請求金額合計	計上部署
0105-イオンリテール GM	30	1,013,100	表示
3100-マックスバリュカント	30	1,013,200	表示
5200-イオンホカイトウ	30	1,011,700	表示

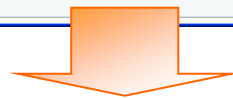
請求データ絞込条件

請求フラグ区分: 0請求対象外 請求内容: 0未請求データ 計上日: ~ 支払法人: 5200-イオンホカイトウ 計上部署: 取引番号: ~ 取得

請求データ一覧

ED請求		ED外請求		支払法人コード	発注者コード	計上部署コード	商品分類(大)	請求金額	税区分	支払内容
対象	請求状態	計上日	取引先コード	支払法人名	発注者名	計上部署名	商品分類(中)	税額	税率	請求区分
			取引番号	取引先名						

一括してチェックする 一括してチェックを外す 請求対象データを更新



4-1-1 3. 閉じるボタンを押し、請求予定作成画面を閉じます。

表示されている請求・支払業務メニューも同じく閉じるボタンを押し、閉じます。

請求予定作成

作成(F2) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マスタ(F10) 支払法人マスタ(F11) 請求予定リスト(F6) 閉じる(F12)

請求サマリ情報

総伝票件数計	総請求金額合計
90	3,038,000

『閉じる』ボタンを押します。

支払法人	伝票件数計	請求金額合計	計上部署
0105-イオンリテール GM	30	1,013,100	表示
3100-マックスバリュカント	30	1,013,200	表示
5200-イオンホカイトウ	30	1,011,700	表示

請求データ絞込条件

請求フラグ区分: 0請求対象外 請求内容: 0未請求データ 計上日: ~ 支払法人: 取引番号: ~ 取得

請求データ一覧

ED請求		ED外請求		支払法人コード	発注者コード	計上部署コード	商品分類(大)	請求金額	税区分	支払内容
対象	請求状態	計上日	取引先コード	支払法人名	発注者名	計上部署名	商品分類(中)	税額	税率	請求区分
			取引番号	取引先名						

一括してチェックする 一括してチェックを外す 請求対象データを更新

以上で、請求データ作成は終了となります。

5. 請求データの送信

請求テストデータの送信は、請求テスト期間毎月1日～14日、締め時間14:00までに実施してください。

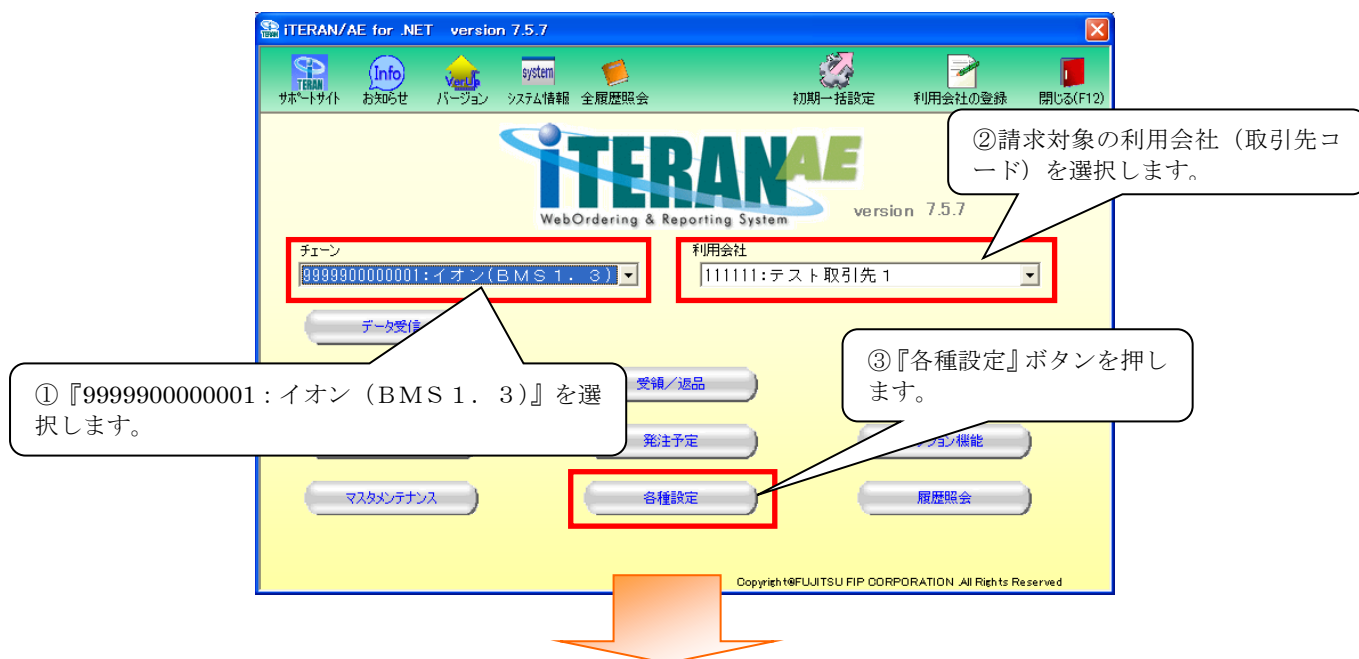
※請求テスト期間を過ぎた場合、請求テストは翌月となります。

※請求テスト期間内の締め時間を過ぎた場合のテスト結果は、送信した日の翌々日以降となることがあります。

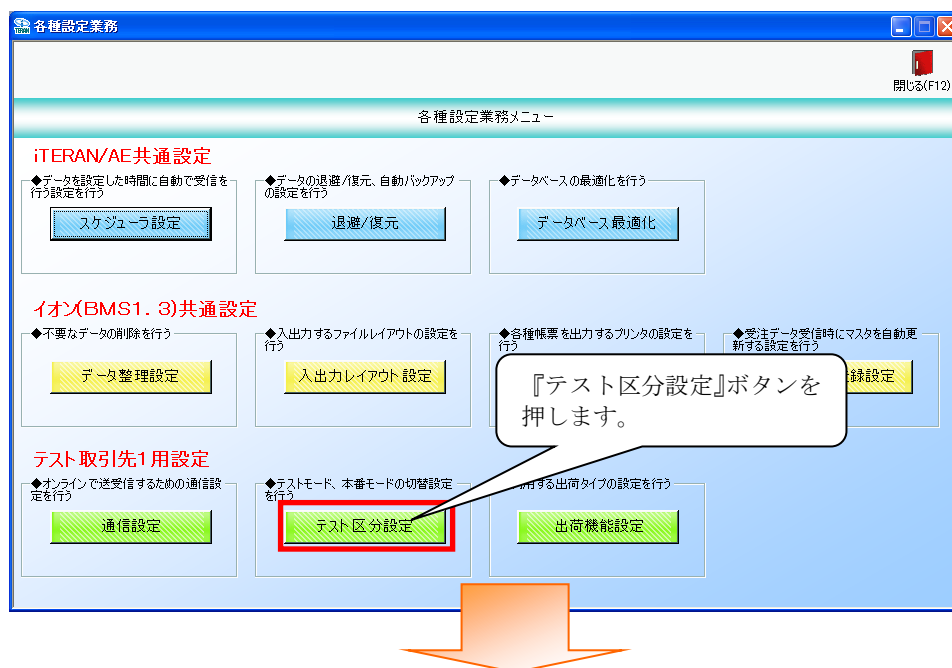
5-1. 請求データを送信する前の確認

※複数利用会社（取引先コード）での請求テストを実施する際は、下記手順を利用会社（取引先コード）ごとに実施してください。

5-1-1. iTERAN/AE を起動後、チェーンを「9999900000001：イオン（BMS 1. 3）」、利用会社を請求テスト対象の利用会社（取引先コード）を選択し、「各種設定」ボタンを押します。



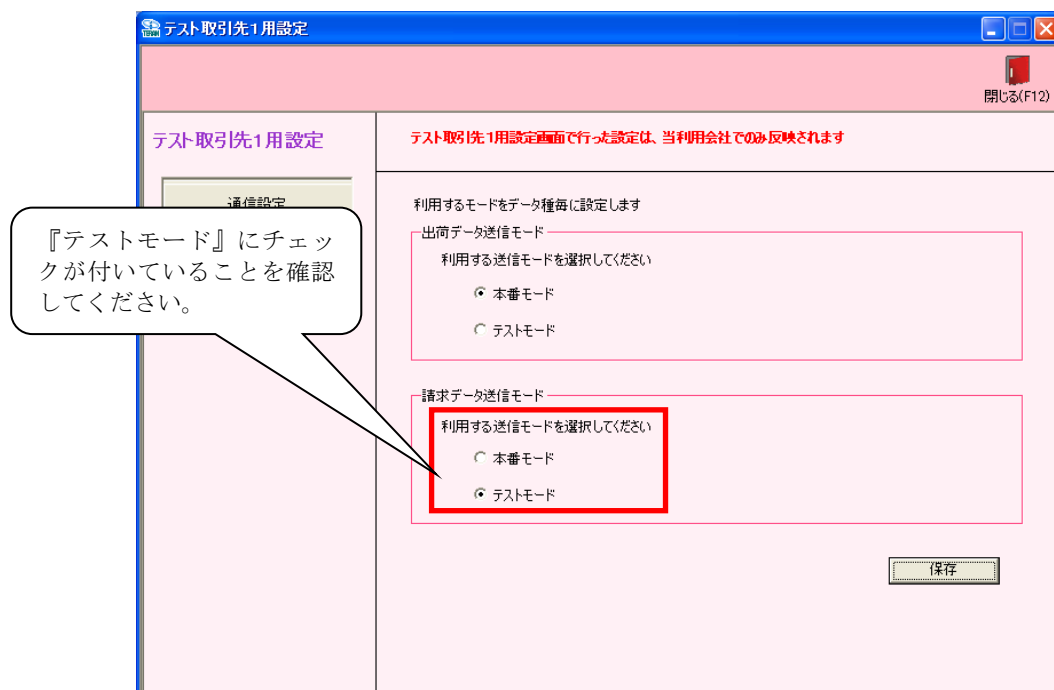
5-1-2. 各種設定業務メニューから、「テスト区分設定」ボタンを押します。



5-1-3. 「請求データ送信モード」を確認し、「テストモード」にチェックされていることを確認します。

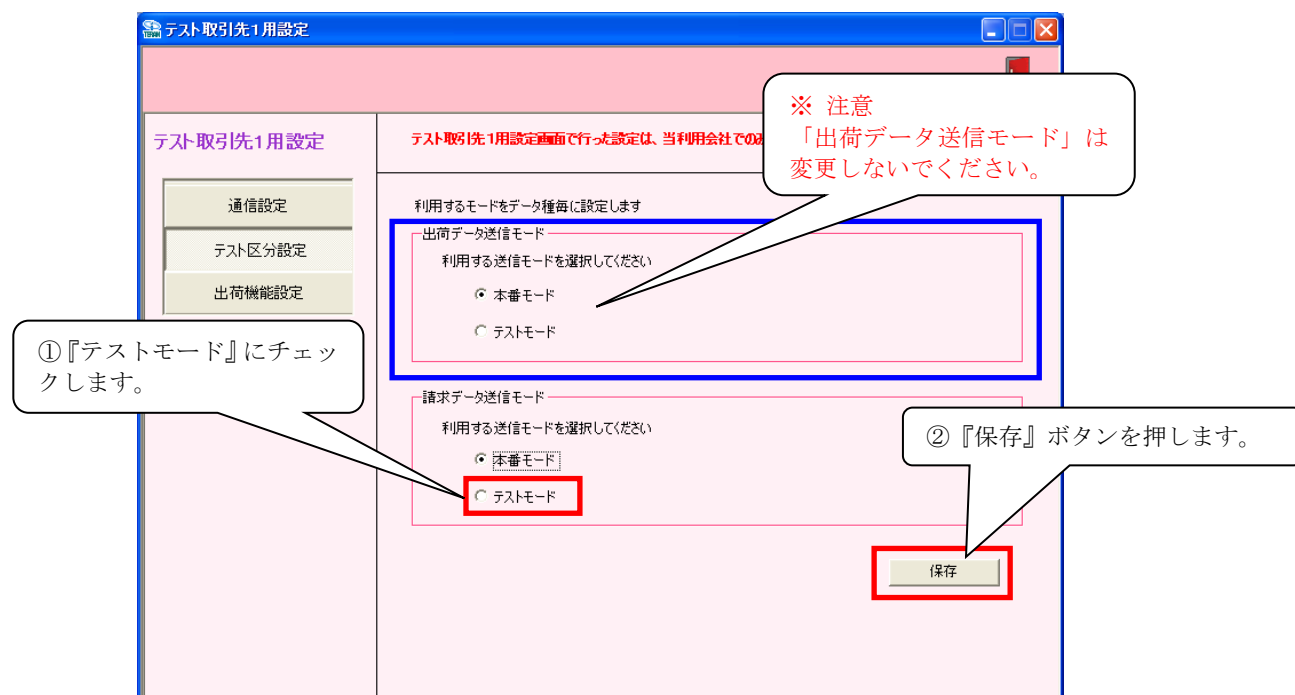
「テストモード」にチェックが付いている場合は「閉じる」ボタンで画面を閉じ、表示されている各種設定業務メニューも同様に「閉じる」ボタンで画面を閉じてください。

※ 「テストモード」チェックが付いている場合は、請求テスト送信する前の確認は終了となります。P 14 「5-2. 作成した請求データを送信する」へお進みください。

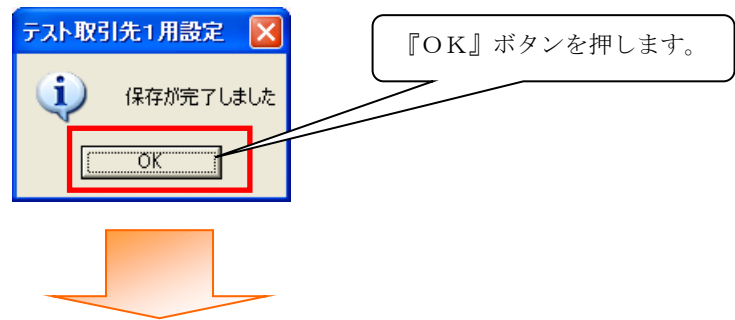


5-1-4. 「請求データ送信モード」が「本番モード」にチェックが付いていた場合は「テストモード」に切替えます。「テストモード」にチェックし、「保存」ボタンを押します。

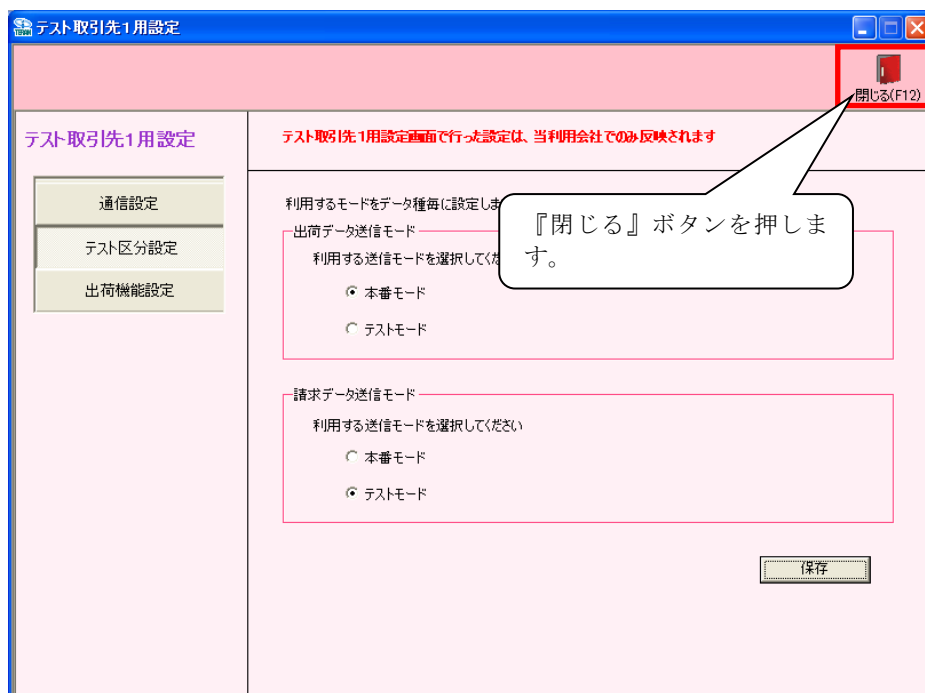
※ 「テストモード」に切替えを行わないと、請求テストが実施できません。



5－1－5．完了メッセージが表示されます。OKボタンを押してください。



5－1－6．「閉じる」ボタンで設定画面を閉じ、表示されている各種設定業務メニューも同様に「閉じる」ボタンで画面を閉じてください。



以上で、請求データを送信する前の確認は終了となります。

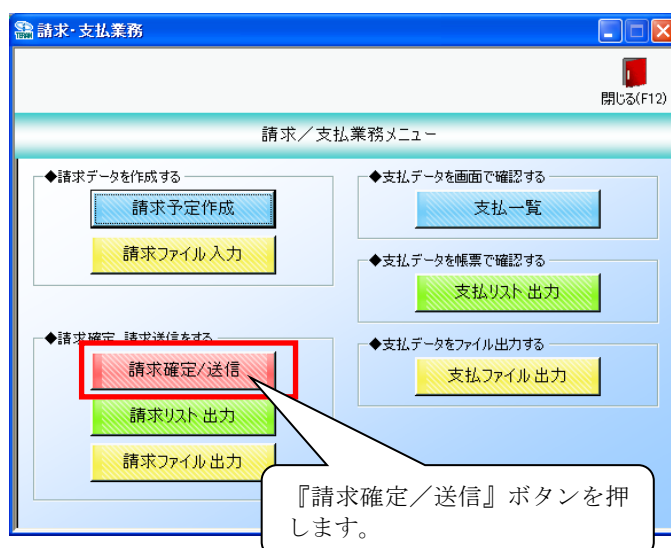
5-2. 作成した請求データを送信する

※複数利用会社（取引先コード）での請求テストを実施する際は、下記手順を利用会社（取引先コード）ごとに実施してください。

5-2-1. iTERAN/AE を起動後、チェーンを「9999900000001：イオン（BMS 1. 3）」、利用会社を請求テスト対象の利用会社（取引先コード）を選択し、「請求／支払」ボタンを押します。



5-2-2. 表示された請求・支払業務メニューの「請求確定／送信」ボタンを押します



5-2-3. 表示された「請求確定/送信」画面の画面上部に「テストモード」が表示されていることを確認してください。

表示されていない場合はP 1 1 「5-1. 請求データを送信する前の確認」を実施してください。

5-2-4. 「請求送信対象データ選択」の「支払法人」から対象の請求先（支払法人）を選択します。

※ 請求送信は請求先（支払法人）ごとに行うため、1つの請求先ごとに送信する必要があります。

5-2-5. 「請求締め日」に「20000101」（2000年1月1日）を入力します。

※請求テストは 2000年1月1日 を請求締め日として行ないます。

本番運用開始後は正しい請求締め日をご指定ください。

請求確定/送信

テストモード

請求送信対象データ選択

支払法人: 0105-イオンテール GMS

請求締め日: 20000101

※請求データの送信は、支払法人毎に行います
請求データの送信忘れにご注意ください

請求内容

支払法人	伝票件数計	請求金額合計
計上部署	伝票件数計	請求金額合計

※再送の場合は差分のみ表示されます

出力帳票

☐ 請求送信合計リスト

☐ 請求送信明細リスト

上記内容で問題なければ、下記チェックボックスにチェック後、送信ボタンを押してください

☐ 請求内容を確認しました

送信

【請求タイプ】 複数回送信可能

【注意】 一度送信した請求データを訂正する場合は、請求予定画面で訂正後、再度、当画面から請求データの送信を行ってください

一度送信した請求データを再送する場合、訂正した請求データに加え、過去に送信した同じ支払法人、請求締め日の請求データも同時に送信されます

5-2-6. 「確認」ボタンを押します。

請求確定/送信

テストモード

請求送信対象データ選択

支払法人: 0105-イオンテール GMS

請求締め日: 20000101

※請求データの送信は、支払法人毎に行います
請求データの送信忘れにご注意ください

確認

請求内容

支払法人	伝票件数計	請求金額合計
計上部署	伝票件数計	請求金額合計

※再送の場合は差分のみ表示されます

出力帳票

☐ 請求送信合計リスト

☐ 請求送信明細リスト

上記内容で問題なければ、下記チェックボックスにチェック後、送信ボタンを押してください

☐ 請求内容を確認しました

送信

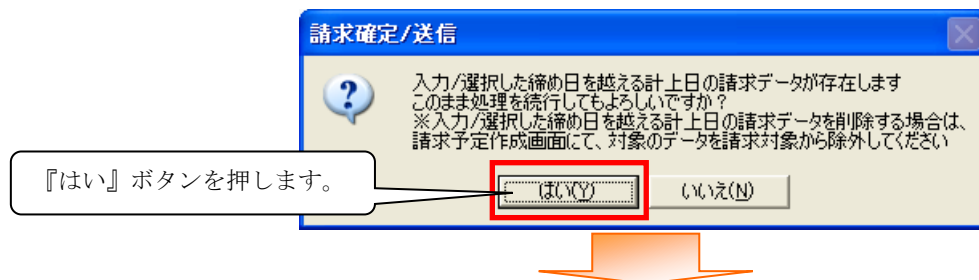
【請求タイプ】 複数回送信可能

【注意】 一度送信した請求データを訂正する場合は、請求予定画面で訂正後、再度、当画面から請求データの送信を行ってください

一度送信した請求データを再送する場合、訂正した請求データに加え、過去に送信した同じ支払法人、請求締め日の請求データも同時に送信されます

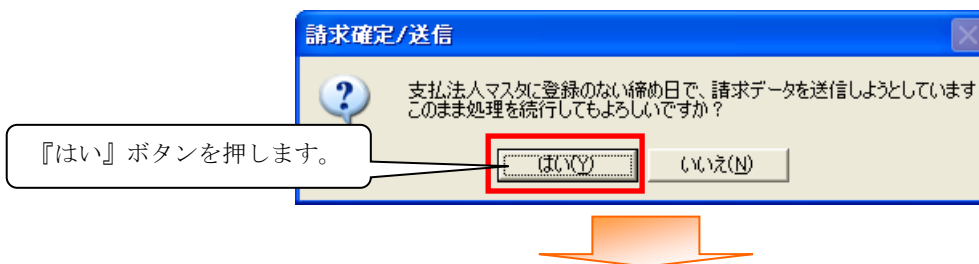
5-2-7. 締め日を越える計上日が存在する旨のメッセージが表示されます。

請求テストでは問題ないため、「はい」ボタンを押してください。



5-2-8. マスタに登録されていない締め日で送信しようとしている旨のメッセージが表示されます。

請求テストでは問題ないため、「はい」ボタンを押してください。



5-2-9. 「請求内容」の「伝票件数計」に表示されている伝票数が10～30伝票であることを確認してください。

※ 請求候補データが9伝票以下だった場合は2伝票以上となっていることを確認してください。

※ 「伝票件数計」に表示される伝票数を増やす／減らす必要がある場合、「請求確定/送信」画面を閉じ、P5「4. 請求データの作成」から再度請求データの作成を行なってください。

請求確定/送信

テストモード

請求送信対象データ選択

支払法人: 0105-イオンテール GMS 請求締め日: 20000101

※請求データの送信は、支払法人毎に行います
請求データの送信忘れにご注意ください

確認

請求内容

支払法人	伝票件数計	請求金額合計
0105-イオンテール GMS	30	1,013,100

計上部署	伝票件数計	請求金額合計
1001:	5	900
1002:	5	184
1003:	5	194,000

※再送の場合は差分のみ表示されます

出力帳票

☐ 請求送信合計リスト

☐ 請求送信明細リスト

上記内容で問題なければ、下記チェックボックスにチェック後、送信ボタンを押してください

☐ 請求内容を確認しました

送信

【請求タイプ】 複数回送信可能

【注意】 一度送信した請求データを訂正する場合は、請求予定画面で訂正後、再度、当画面から請求データの送信を行ってください

一度送信した請求データを再度送信した場合、一度送信した請求データに加え、過去に送信した同じ支払法人の請求データも同時に送信されます

伝票数を確認します。

5-2-10. 「請求内容を確認しました」のチェックボックスにチェックします。

請求確定/送信

テストモード

開じる(F12)

請求送信対象データ選択

支払法人: 0105イオンテール GMS 請求締め日: 20000101

※請求データの送信は、支払法人毎に行います
請求データの送信忘れにご注意ください

確認

請求内容

支払法人	伝票件数計	請求金額合計
0105イオンテール GMS	30	1,013,100

計上部署	伝票件数計	請求金額合計
1001:	5	194,000
1002:	5	184,000
1003:	5	194,000

※再送の場合は差分のみ表示されます

票

☐ 請求送信合計リスト
☐ 請求送信明細リスト

上記内容で問題なければ、下記チェックボックスにチェック後、送信ボタンを押してください

☒ 請求内容を確認しました

送信

【請求タイプ】 複数回送信可能

【注意】 一度送信した請求データを訂正する場合は、請求予定画面で訂正後、再度、当画面から請求データの送信を行ってください

一度送信した請求データを再送する場合、訂正した請求データに加え、過去に送信した同じ支払法人、請求締め日の請求データも同時に送信されます

5-2-11. 「送信」ボタンを押します。

請求確定/送信

テストモード

開じる(F12)

請求送信対象データ選択

支払法人: 0105イオンテール GMS 請求締め日: 20000101

※請求データの送信は、支払法人毎に行います
請求データの送信忘れにご注意ください

確認

請求内容

支払法人	伝票件数計	請求金額合計
0105イオンテール GMS	30	1,013,100

計上部署	伝票件数計	請求金額合計
1001:	5	194,000
1002:	5	184,000
1003:	5	194,000

※再送の場合は差分のみ表示されます

出力帳票

☐ 請求送信合計リスト
☐ 請求送信明細リスト

上記内容で問題なければ、下記チェックボックスにチェック後、送信ボタンを押してください

☒ 請求内容を確認しました

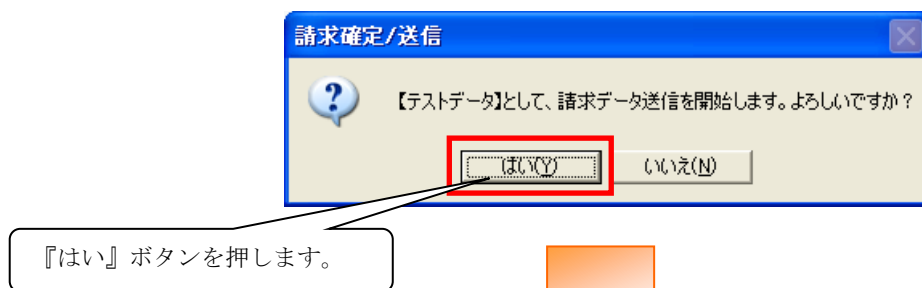
送信

【請求タイプ】 複数回送信可能

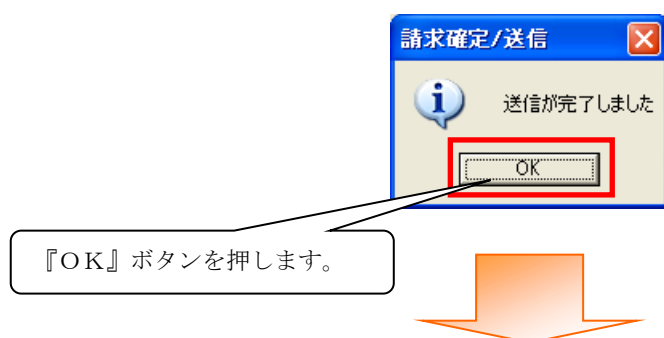
【注意】 一度送信した請求データを訂正する場合は、請求予定画面で訂正後、再度、当画面から請求データの送信を行ってください

一度送信した請求データを再送する場合、訂正した請求データに加え、過去に送信した同じ支払法人、請求締め日の請求データも同時に送信されます

5－2－1 2．テストデータ送信確認メッセージが表示されます。「はい」ボタンを押します。



5－2－1 3．送信完了メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押します。



5－2－1 4．請求先が複数存在する場合は、「請求送信対象データ選択」の「支払法人」から対象の請求先（支払法人）を選択し直し、「5－2－4」～「5－2－1 3」を実施してください。

※ 請求先が1つの場合は、実施する必要はありません。



5－2－1 5．請求テストを実施する全ての請求先（支払法人）を送信し終えたら、「請求確定／送信」画面及び請求・支払業務メニューを「閉じる」ボタンで閉じてください。

以上で、請求データの送信は終了となります。

6. 請求テスト申込書・請求テストメッセージ明細表の作成

請求テスト申込書・請求テストメッセージ明細表は、メールで配布されたファイル『流通 BMS 請求テスト東京センター提出資料.xls』のエクセルシートで作成します。

※ 複数の請求先に対して請求テストを行う場合は請求先（支払法人）1社ごとに「請求テスト申込書」と「請求テストメッセージ明細書」を作成する必要があります。

※ 「請求テスト申込書」「請求テストメッセージ明細書」の記載に誤りがあった場合、請求テストが不合格になることがありますのでご注意ください。

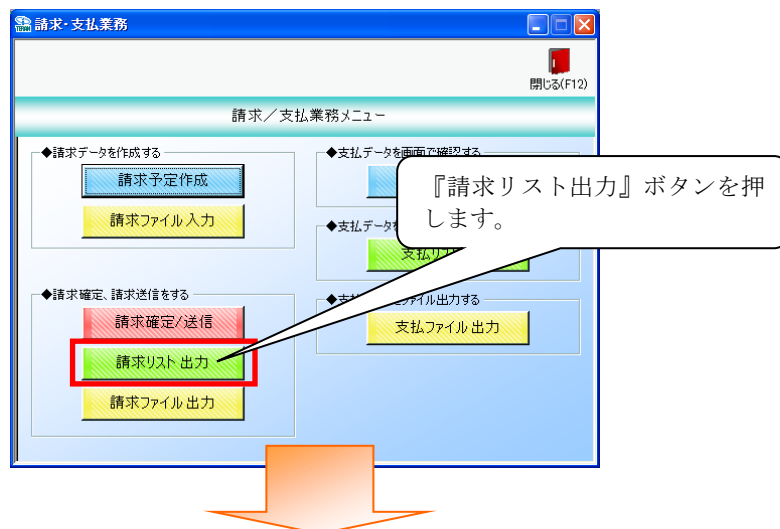
6-1. 請求送信明細リストの出力

請求テスト申込書・請求テストメッセージ明細表作成用に「請求送信明細リスト」を出力します。

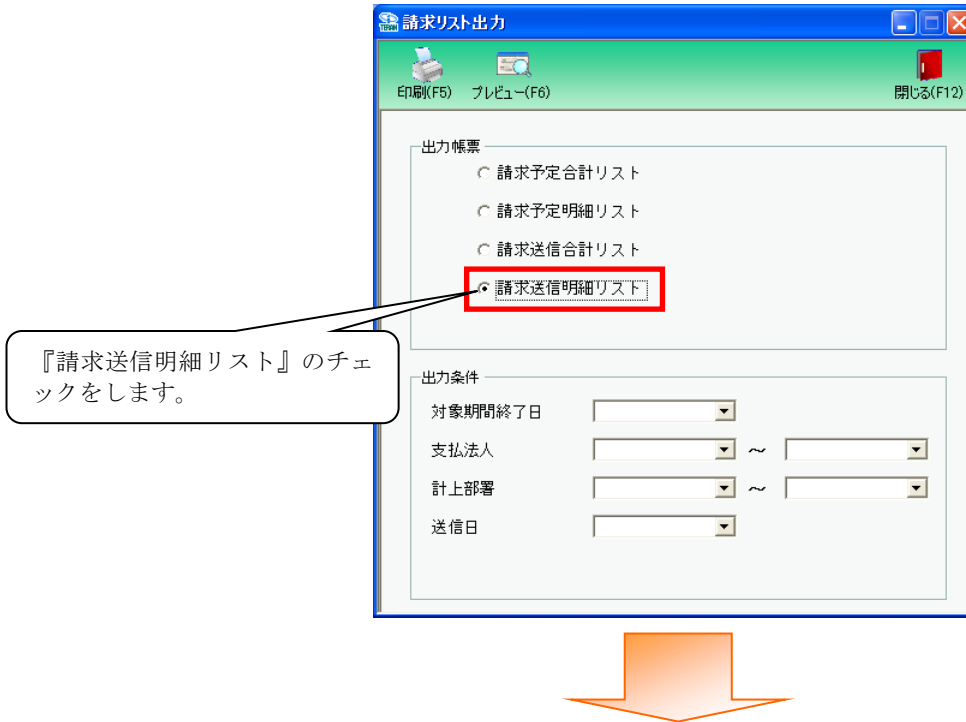
6-1-1. iTERAN/AE を起動後、チェーンを「9999900000001：イオン（BMS 1. 3）」、利用会社を請求テスト対象の利用会社（取引先コード）を選択し、「請求／支払」ボタンを押します。



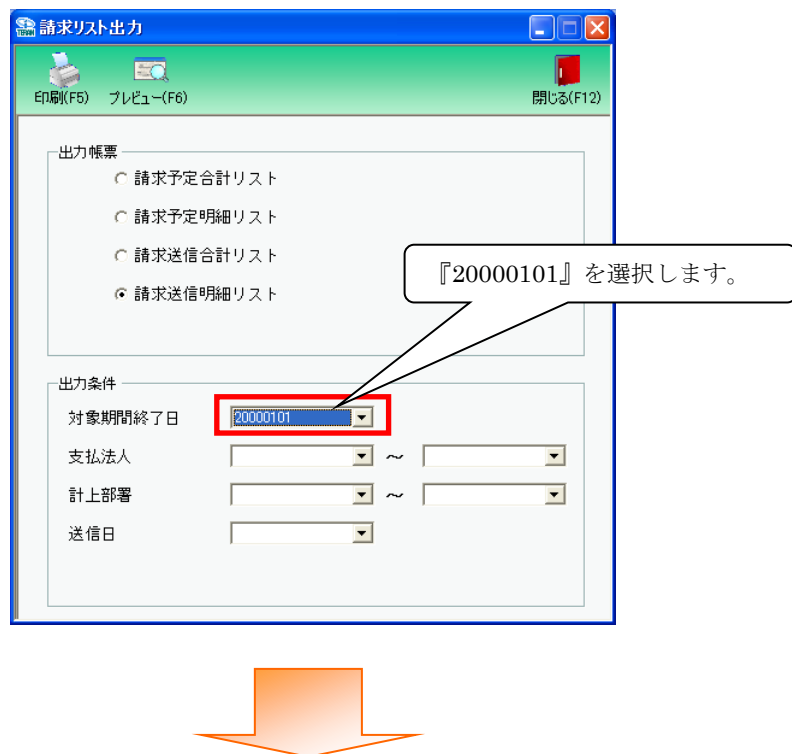
6-1-2. 表示された請求・支払業務メニューの「請求リスト出力」ボタンを押します。



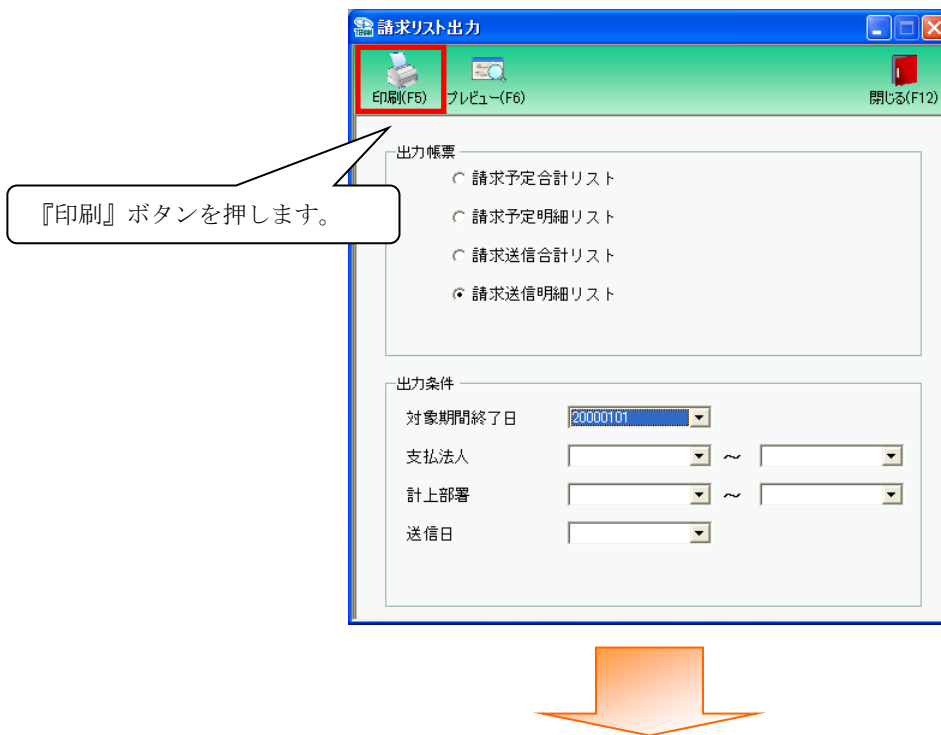
6-1-3. 請求リスト出力画面の「出力帳票」の「請求送信明細リスト」を選択します。



6-1-4. 請求リスト出力画面の「出力条件」の「対象期間終了日」から「20000101」を選択します。



6-1-5. 請求リスト出力画面の「印刷」ボタンを押します。



6-1-6. 「請求送信明細リスト」が印刷されます。

※ 請求テスト送信を実施した全ての請求先（支払法人）が印刷されます。

TEST		請求送信明細リスト				(送信日 2012/06/10 14:30:45) ページ 1 / 6	
支払法人コード	0106	請求取引先	1111111:テスト会社				
発注者	0106:イオン・GMS	対象期間終了日(締め日)	2000/01/01				
計上部署	計上日	取引番号	商品分類(大)	商品分類(中)	支払内容	請求税額	請求金額
1001:	2012/04/06	900001	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/07	900007	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/08	900013	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/11	900019	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/13	900025	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	合計					9,700	194,000
1002:	2012/04/06	900002	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/07	900008	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/08	900014	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/11	900020	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/13	900026	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	合計					9,200	184,000
1003:	2012/04/06	900003	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/07	900009	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/08	900015	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/11	900021	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/13	900027	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	合計					9,700	194,000
1004:	2012/04/06	900004	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/08	900010	11	999	1002:返品明細	0	-1,000
	2012/04/08	900010	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/10	900016	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/12	900022	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	合計					7,000	139,000
1005:	2012/04/06	900005	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/08	900011	11	999	1002:返品明細	0	-500
	2012/04/08	900011	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/10	900017	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/12	900023	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	合計					7,000	139,500

6-2. 請求テスト申込書の作成

請求テスト申込書の作成方法

送付する日付（請求テスト送信日）を記載します。

「① 富士通 FIP(株)」に「○」を記載します。

貴社の請求取引先コードを記載します。

貴社名を記載します。

ご担当者名を記載します。

貴社の電話番号を記載します。

貴社のFAX番号を記載します。

「6-1. 請求送信明細リストの出力」に従い、請求明細リスト出力後、「6-2-1. 請求テストメッセージ送信時間の確認」を参照し記載します。

「6-1. 請求送信明細リストの出力」に従い、請求明細リスト出力後、「6-2-2. テストデータの内容作成方法」を参照し記載します。

請求先（支払法人）の名称または会社コード（支払法人コード）を記載します。

FAXの送付枚数を記載します。

20 年 月 日

流通BMS 請求テスト申込書 NO. 1

※『流通BMS 請求テストメッセージ』を送信後、本紙と『流通BMS 請求テストメッセージ明細表』をFAXしてください。

<本紙送付先> イオンアイビス東京センター 流通BMS担当 FAX : 043-299-3660
TEL : 043-299-3560

取引先コード

ASP事業者(該当する事業者)に○をつけてください

① 富士通FIP(株) ☐

② 株式会社インテック ☐

③ NTTコムウェア(株) ☐

お取引先名

ご担当者名

TEL

FAX

請求テストメッセージ送信時間 午前・午後 : 通 送信済み

★テストデータの内容

伝 種	枚数	金 額
1001 (01)/仕入		
1002 (02)/返品		
総計(仕入→返品)		

請求先 (会社コードもしくは会社名を記入してください)

※複数の会社に対して請求テストを行われる場合には、請求会社1社ごとに、「流通BMS 請求テスト申込書」と「流通BMS 請求テストメッセージ明細表」を作成してください。

FAX送付枚数 枚

※「請求テスト申込書」は取引先コードごと、請求先（支払法人）ごとに作成してください。

例1：取引先コード：1コードのみ 請求先： 1社 = 1枚作成

例2：取引先コード：1コードのみ 請求先： 3社 = 3枚作成

例3：取引先コード：2コード 請求先：各3社 = 6枚作成

6-2-1. 請求テストメッセージ送信時間の確認

- ① 「6-1. 請求送信明細リストの出力」で印刷した請求送信明細リストの対象請求先（支払法人）の「送信日」で送信した日時を確認します。

TEST		請求送信明細リスト				送信日 2012/05/10 14:30:45	ページ 1 / 6
支払法人コード 0105		請求取引先 111111:テスト社キヤ#1		対象期最終了日(締め日) 2000/01/01			
発注者 0100:イオン GMS							
計上部署	計上日	商品分類大	商品分類中	支払内容	非税額	請求金額	
1001:	2012/04/06	900002	11	999 1001:仕入明細	2,700	54,000	
	2012/04/07	900008	11	999 1001:仕入明細	2,200	44,000	
	2012/04/08	900014	11	999 1001:仕入明細	1,050	21,000	
	2012/04/11	900020	11	999 1001:仕入明細	1,050	21,000	
	2012/04/13	900026	11	999 1001:仕入明細	2,700	54,000	
合計					9,700	194,000	
1002:	2012/04/06	900002	11	999 1001:仕入明細	2,200	44,000	
	2012/04/07	900008	11	999 1001:仕入明細	2,200	44,000	
	2012/04/08	900014	11	999 1001:仕入明細	1,050	21,000	
	2012/04/11	900020	11	999 1001:仕入明細	1,050	21,000	
	2012/04/13	900026	11	999 1001:仕入明細	2,700	54,000	
合計					9,200	184,000	
1003:	2012/04/06	900003	11	999 1001:仕入明細	2,700	54,000	
	2012/04/07	900008	11	999 1001:仕入明細	2,700	54,000	
	2012/04/08	900015	11	999 1001:仕入明細	2,200	44,000	
	2012/04/11	900021	11	999 1001:仕入明細	1,050	21,000	
	2012/04/13	900027	11	999 1001:仕入明細	1,050	21,000	
合計					9,700	194,000	
1004:	2012/04/06	900004	11	999 1001:仕入明細	1,050	21,000	
	2012/04/08	900010	11	999 1002:返品明細	0	-1,000	
	2012/04/08	900010	11	999 1001:仕入明細	1,050	21,000	
	2012/04/10	900016	11	999 1001:仕入明細	2,700	54,000	
	2012/04/12	900022	11	999 1001:仕入明細	2,200	44,000	
合計					7,000	139,000	
1005:	2012/04/06	900005	11	999 1001:仕入明細	2,200	44,000	
	2012/04/08	900011	11	999 1002:返品明細	0	-500	
	2012/04/08	900011	11	999 1001:仕入明細	1,050	21,000	
	2012/04/10	900017	11	999 1001:仕入明細	1,050	21,000	
	2012/04/12	900023	11	999 1001:仕入明細	2,700	54,000	
合計					7,000	139,500	



- ② 確認した「送信日」を「請求テストメッセージ送信時間」として記載します。

請求テストメッセージ送信時間	午前・午後	14	:	30	頃 送信済み
----------------	-------	----	---	----	--------

「午前」または「午後」丸をつけます。

送信日時の「〇〇:〇〇」表記で時間を記載します。

6-2-2. テストデータの内容 作成方法

①「6-1. 請求送信明細リストの出力」で印刷した請求送信明細リストの対象請求先（支払法人）の支払内容ごとに伝票枚数と請求金額を計算します。

TEST

支払法人コード 0105

発行番号 0105-イオンAE GMS

対象期間終了日(締め日) 2000/01/01

請求金額を計算します。

支払内容：
1001：仕入明細
1002：返品明細

計上簿	計上日	取引番号	商品分類(大)	商品分類(中)	支払内容	請求税額	請求金額
1001:	2012/04/05	900001	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/07	900007	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/08	900013	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/11	900019	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/13	900025	11	999	1001:仕入明細	2,300	44,000
					合計	7,000	194,000
1002:	2012/04/05	900002	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/07	900008	11	999	1001:仕入明細	2,300	44,000
	2012/04/08	900014	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/11	900020	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/13	900026	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
					合計	9,200	184,000
1003:	2012/04/05	900003	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/07	900009	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/08	900015	11	999	1001:仕入明細	2,300	44,000
	2012/04/11	900021	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/13	900027	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
					合計	9,700	194,000
1004:	2012/04/05	900004	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/08	900010	11	999	1002:返品明細	0	-1,000
	2012/04/08	900010	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/10	900016	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/12	900022	11	999	1001:仕入明細	2,300	44,000
					合計	7,000	139,000
1005:	2012/04/05	900005	11	999	1001:仕入明細	2,300	44,000
	2012/04/08	900011	11	999	1002:返品明細	0	-500
	2012/04/08	900011	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/10	900017	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/12	900023	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
					合計	7,000	139,500

②計算結果を「テストデータ内容」欄に記載します。

①支払内容「1001:仕入明細」の伝票数を記載します。
(1伝票を1枚として集計)

★テストデータの内容

伝種	枚数	金額					
1001 (01)/仕入	27	1	0	1	5	0	0
1002 (02)/返品	3				1	9	0
合計(仕入-返品)		1	0	1	3	1	0

②支払内容「1001:仕入明細」の請求金額合計を記載します。

④支払内容「1002:返品明細」の請求金額合計を記載します。
(マイナス表記不要)

③支払内容「1002:返品明細」の伝票数を記載します。
(1伝票を1枚として集計)

⑤仕入明細の請求金額合計－返品明細の請求金額合計の計算結果を記載します。

6-3. 請求テストメッセージ明細表の作成

請求テストメッセージ明細表の作成方法

流通BMS

請求取引先コード
(取引先コード)

テストメッセージ明細表

NO.

貴社の請求取引先コードを記載します。

※「流通BMS 請求テストメッセージ」を送信後、申込書と一緒に本紙をFAXしてください。

(上段:流通BMS項目名、下段:現行の項目名)

No	計上部署コード (4桁)	商品分類(中) (3桁)	支払内容 (4桁)	取引番号(発注・返品) (6桁) ※C/D無し	請求金額 (8桁)
	店コード	分類コード	伝種	伝票番号	請求金額
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

※塗り潰されている部分には何も記入しないでください。 支払内容(伝種) : 仕入:1001、返品:1002

「NO.」に「1」を記載します。

「6-3-1.テストメッセージ明細表の作成方法」参照し、記載します。

※「請求テストメッセージ明細表」は取引先コードごと、請求先（支払法人）ごとに作成してください。

例1：取引先コード：1コードのみ 請求先： 1社 = 1枚作成

例2：取引先コード：1コードのみ 請求先： 3社 = 3枚作成

例3：取引先コード：2コード 請求先：各3社 = 6枚作成

6-3-1. テストメッセージ明細表の作成方法

- ①「6-1. 請求送信明細リストの出力」で印刷した請求送信明細リストを確認しながら、請求テストメッセージ明細表へ記載します。

※ 送信した各請求先（支払法人）の全伝票を記載する必要があります。

TEST

D. 「取引番号（発注・返品）」
（伝票番号）へ転載します。

請求送信明細リスト

(送信日 2012/05/10 14:30:45) ページ 1/6

支払法人コード 0106
発注者 0106:12

請求取引先 111111:テスト会社1
対象期間終了日(締め日) 2000/01/01

計上部署	計上日	取	商品分類(大)	商品分類(中)	支払内容	請求税額	請求金額
1001:	2012/04/06	900001	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/07	900007	11	999	1001:仕入明細	1,060	1,000
	2012/04/09	900013	11	999	1001:仕入明細	2,700	1,000
	2012/04/11	900019	11	999	1001:仕入明細	2,700	1,000
	2012/04/13	900025	11	999	1001:仕入明細	2,200	1,000
					合計	9,700	1,000
	2012/04/06	900003	11		1001:仕入明細	2,200	1,000
	2012/04/07	900008	11		1001:仕入明細	2,200	1,000
			11		1001:仕入明細	1,060	1,000
			11		1001:仕入明細	1,060	1,000
					合計	9,200	1,000
						1,060	21,000
					合計	9,700	194,000
1004:	2012/04/06	900004	11			1,060	21,000
	2012/04/08	900010	11	999	1002:返品明細	0	-1,000
	2012/04/08	900010	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/10	900016	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/12	900022	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
					合計	7,000	139,000
1006:	2012/04/06	900005	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/08	900011	11	999	1002:返品明細	0	-500
	2012/04/08	900011	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/10	900017	11	999	1001:仕入明細	1,060	21,000
	2012/04/12	900023	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
					合計	7,000	139,500

A. 「計上部署コード」
（店コード）へ転載します。

B. 「商品分類（中）」
（分類コード）へ転載します。

C. 「支払内容」（伝種）へ
転載します。

E. 「請求金額」へ転載
します。



No	計上部署コード (4桁) 店コード	商品分類(中) (3桁) 分類コード	支払内容 (4桁) 伝種	取引番号(発注・返品) (6桁) ※O/D無し 伝票番号	請求金額 (8桁) 請求金額
1	1 0 0 1	9 9 9	1 0 0 1	9 0 0 0 0 0 1	2 1 0 0 0

A. 「計上部署コード」
を記載します。

B. 「商品分類（中）」を記
載します。

C. 「支払内容」（コードの
み）を記載します。

D. 「取引番号」を記載し
ます。

E. 「請求金額」を記
載します。

6-4. 請求テスト申込書・請求テストメッセージ明細表作成例

請求送信明細リスト（請求先：イオンリテール 伝票数：30 枚）

請求先：イオンリテール 1 枚目

TEST		請求送信明細リスト				(送信日 2012/05/10 14:30:45) ページ 1 / 6	
支払法人コード 0105 発注者 0105:イオンリテール GMS		請求取引先 111111:テスト用イオン 対象期間終了日(締め日) 2000/01/01					
計上簿番	計上日	取引番号	商品分類(大)	商品分類(中)	支払内容	請求税額	請求金額
1001:	2012/04/06	900001	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/07	900007	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/08	900013	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/11	900019	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/13	900025	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
					合計	9,700	194,000
1002:	2012/04/06	900002	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/07	900008	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/08	900014	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/11	900020	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/13	900026	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
					合計	9,200	184,000
1003:	2012/04/06	900003	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/07	900009	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/08	900015	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/11	900021	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/13	900027	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
					合計	9,700	194,000
1004:	2012/04/06	900004	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/08	900010	11	999	1002:返品明細	0	-1,000
	2012/04/08	900010	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/10	900016	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/12	900022	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
					合計	7,000	139,000
1005:	2012/04/06	900005	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/08	900011	11	999	1002:返品明細	0	-500
	2012/04/08	900011	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/10	900017	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
	2012/04/12	900023	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
					合計	7,000	139,500

請求先：イオンリテール 2 枚目

TEST		請求送信明細リスト				(送信日 2012/05/10 14:30:45) ページ 2 / 6	
支払法人コード 0105 発注者 0105:イオンリテール GMS		請求取引先 111111:テスト用イオン 対象期間終了日(締め日) 2000/01/01					
計上簿番	計上日	取引番号	商品分類(大)	商品分類(中)	支払内容	請求税額	請求金額
1006:	2012/04/06	900006	11	999	1001:仕入明細	2,700	54,000
	2012/04/08	900012	11	999	1002:返品明細	0	-400
	2012/04/08	900012	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/10	900018	11	999	1001:仕入明細	2,200	44,000
	2012/04/12	900024	11	999	1001:仕入明細	1,050	21,000
					合計	8,150	162,600

請求テスト申込書 記入例 (請求先: イオンリテール 伝票数: 30 枚)

2012 年 5 月 10 日

流通BMS 請求テスト申込書

NO. 1

※『流通BMS 請求テストメッセージ』を送信後、本紙と「流通BMS 請求テストメッセージ明細表」をFAXしてください。

<本紙送付先> イオンアイビス 東京センター 流通BMS 担当

FAX: 043-299-3650

TEL: 043-299-3560

取引先コード

1	1	1	1	1
---	---	---	---	---

ASP事業者(該当する事業者に○をつけてください)

① 富士通FIP㈱	☒
② ㈱インテック	☐
③ NTTコムウェア㈱	☐

お取引先名 テスト取引先1

ご担当者名 テスト担当者A

TEL 9999-99-9999

FAX 9999-99-9998

請求テストメッセージ送信時間 午前・午後 14 : 30 頃 送信済み

★テストデータの内容

伝 種	枚数	金 額
1001 (01)/仕入	27	1015000
1002 (02)/返品	3	19000
総計(仕入-返品)		1013100

請求先 (会社コードもしくは会社名を記入してください)

イオンリテール㈱

※複数の会社に対して請求テストを行われる場合には、請求会社1社ごとに、「流通BMS 請求テスト申込書」と「流通BMS 請求テストメッセージ明細表」を作成してください。

FAX送付枚数 2 枚

請求テストメッセージ明細表申込書 記入例 (請求先：イオンリテール 伝票数：30 枚)

流通BMS 請求テストメッセージ明細表 NO. 1

請求取引先コード*
(取引先コード)

1	1	1	1	1	1
---	---	---	---	---	---

※「流通BMS 請求テストメッセージ」を送信後、
申込書と一緒に本紙をFAXしてください。

(上段：流通BMS項目名、下段：現行の項目名)

No	計上部署コード (4桁)				商品分類(中) (3桁)			支払内容 (4桁)				取引番号(発注・返品) (6桁) ※C/D無し						請求金額 (8桁)			
	店コード				分類コード			伝種				伝票番号						請求金額			
1	1	0	0	1	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	0	1	2	1	0	0
2	1	0	0	1	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	0	7	2	1	0	0
3	1	0	0	1	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	1	3	5	4	0	0
4	1	0	0	1	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	1	9	5	4	0	0
5	1	0	0	1	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	2	5	4	4	0	0
6	1	0	0	2	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	0	2	4	4	0	0
7	1	0	0	2	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	0	8	4	4	0	0
8	1	0	0	2	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	1	4	2	1	0	0
9	1	0	0	2	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	2	0	2	1	0	0
10	1	0	0	2	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	2	6	5	4	0	0
11	1	0	0	3	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	0	3	5	4	0	0
12	1	0	0	3	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	0	9	5	4	0	0
13	1	0	0	3	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	1	5	4	4	0	0
14	1	0	0	3	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	2	1	2	1	0	0
15	1	0	0	3	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	2	7	2	1	0	0
16	1	0	0	4	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	0	4	2	1	0	0
17	1	0	0	4	9	9	9	1	0	0	2	9	0	0	0	1	0	1	0	0	0
18	1	0	0	4	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	1	0	2	1	0	0
19	1	0	0	4	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	1	6	5	4	0	0
20	1	0	0	4	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	2	2	4	4	0	0
21	1	0	0	5	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	0	5	4	4	0	0
22	1	0	0	5	9	9	9	1	0	0	2	9	0	0	0	1	1	5	0	0	0
23	1	0	0	5	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	1	1	2	1	0	0
24	1	0	0	5	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	1	7	2	1	0	0
25	1	0	0	5	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	2	3	5	4	0	0
26	1	0	0	6	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	0	6	5	4	0	0
27	1	0	0	6	9	9	9	1	0	0	2	9	0	0	0	1	2	4	0	0	0
28	1	0	0	6	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	1	2	4	4	0	0
29	1	0	0	6	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	1	8	4	4	0	0
30	1	0	0	6	9	9	9	1	0	0	1	9	0	0	0	2	4	2	1	0	0

※塗り潰されている部分には何も記入しないでください。

支払内容(伝種)：仕入:1001、返品:1002

請求テスト申込書、請求テストメッセージ明細表の記載完了後、以下宛に FAX にて送付してください。

テスト結果は後日、イオンアイビス東京センター様より FAX にて送付されます。

宛先：イオンアイビス東京センター 流通 BMS 担当

FAX：043-299-3650

7. 本番稼動前の準備と注意事項（必ずお読みください）

請求テストで合格するまでは絶対に行わないでください。

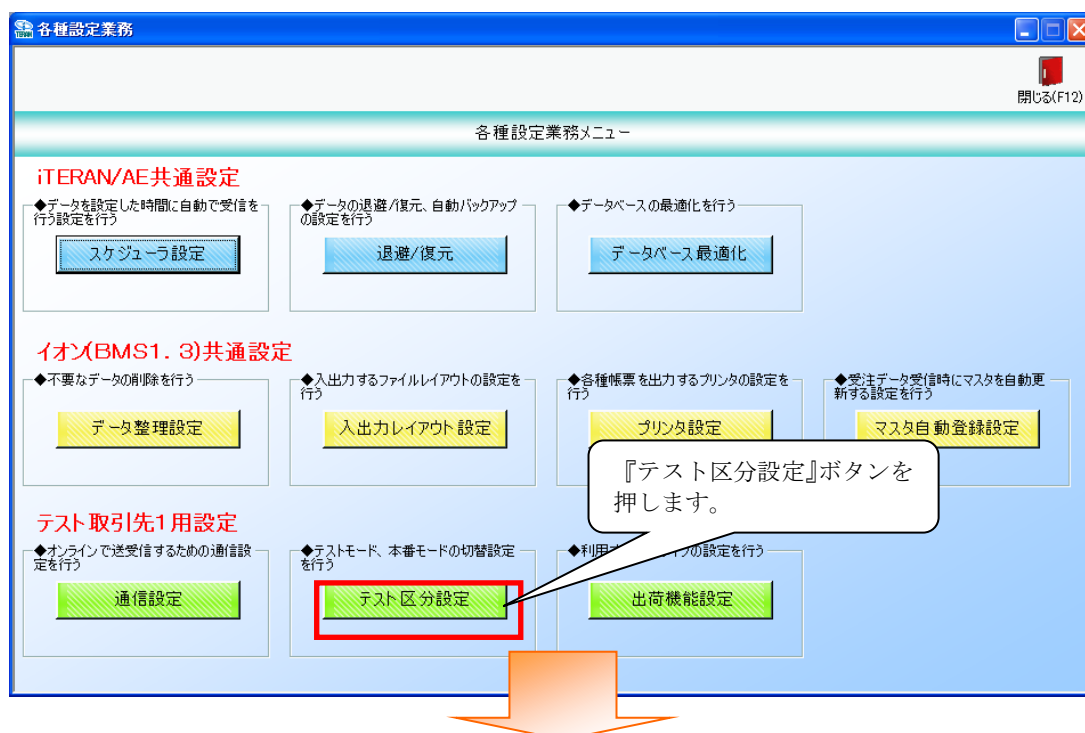
7-1. iTERAN/AE の請求送信モード切替

※複数利用会社（取引先コード）での請求テストを実施した場合は、下記手順を利用会社（取引先コード）ごとに実施してください。

8-1-1. iTERAN/AE を起動後、チェーンを「9999900000001：イオン（BMS 1. 3）」、利用会社を請求テスト対象の利用会社（取引先コード）を選択し、「各種設定」ボタンを押します。

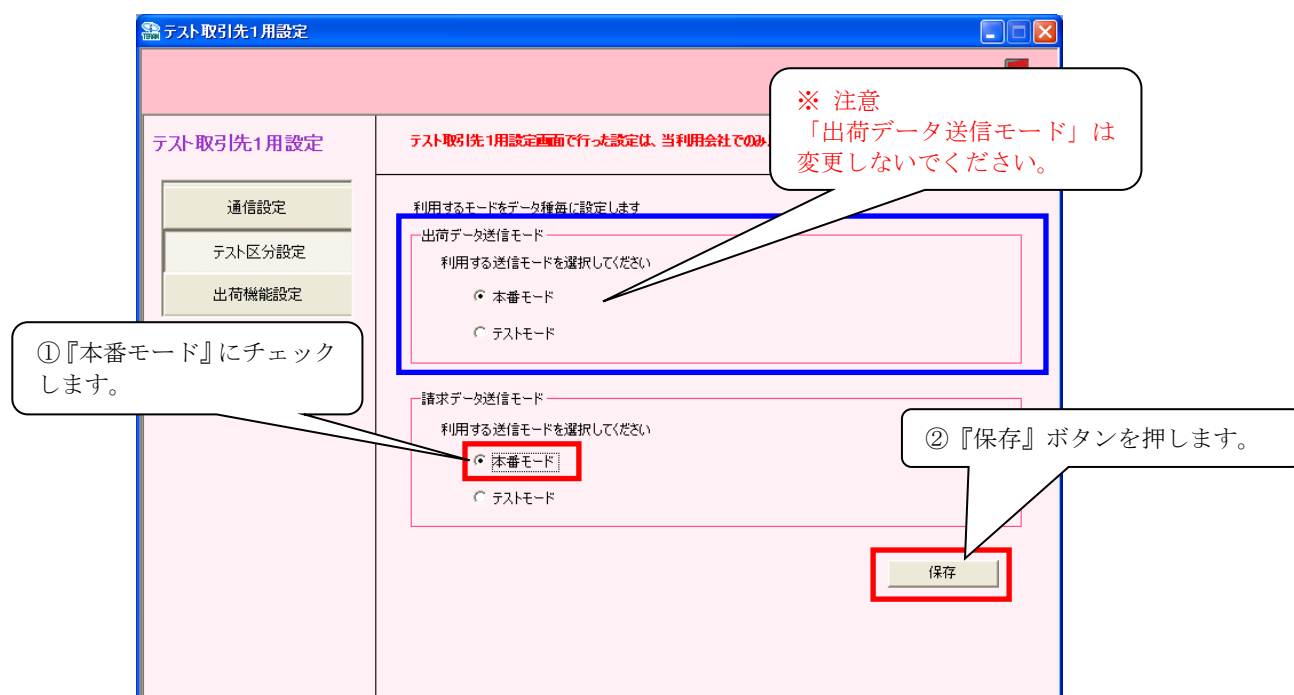


7-1-2. 各種設定業務メニューから、「テスト区分設定」ボタンを押します。

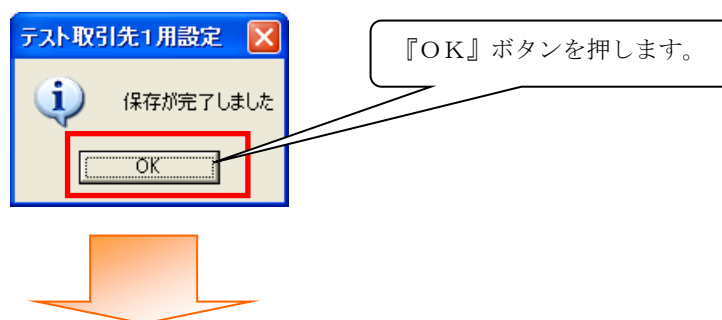


7-1-3. 「請求データ送信モード」を「本番モード」にチェックし、「保存」ボタンを押します。

※「本番モード」に切替えを行わないと、テストデータとして送信されてしまいます。



7-1-4. 完了メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押してください。



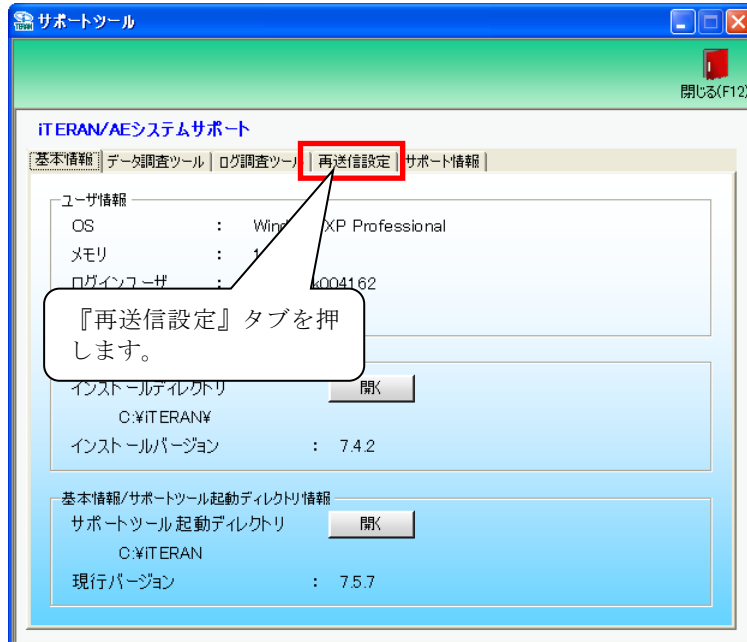
7-1-5. 「閉じる」ボタンで設定画面を閉じ、表示されている各種設定業務メニューも同様に「閉じる」ボタンで画面を閉じてください。

7-2. テストで送信したデータを本番モードで送信するための準備

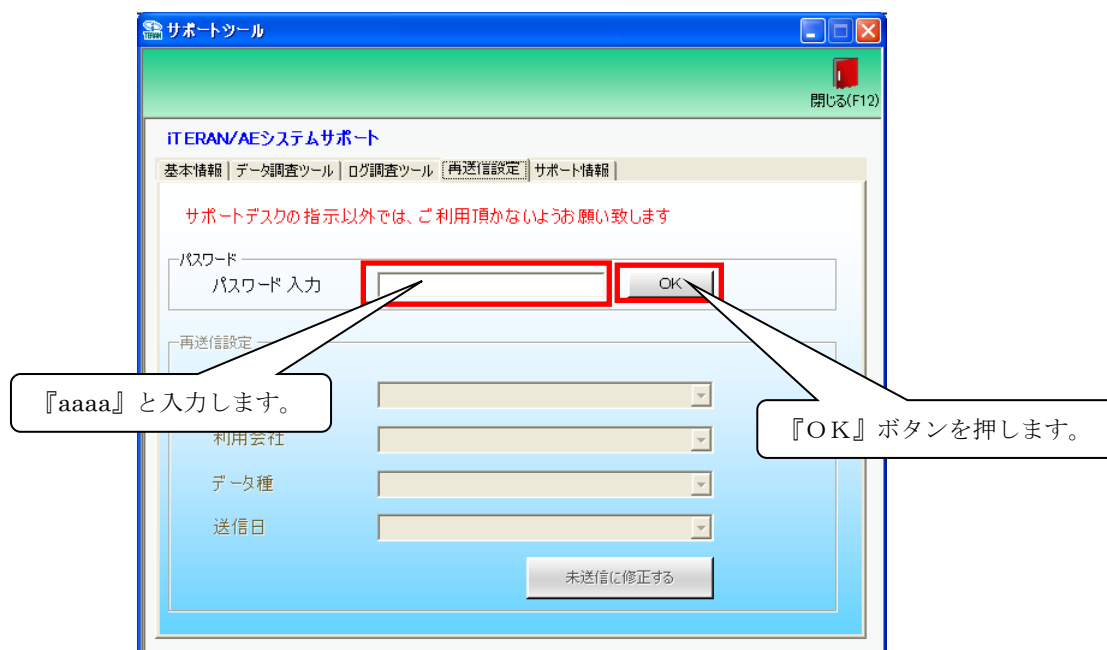
7-2-1. iTERAN/AE を起動後、「システム情報」ボタンを押します。



7-2-2. 「再送信設定」タブを押します。

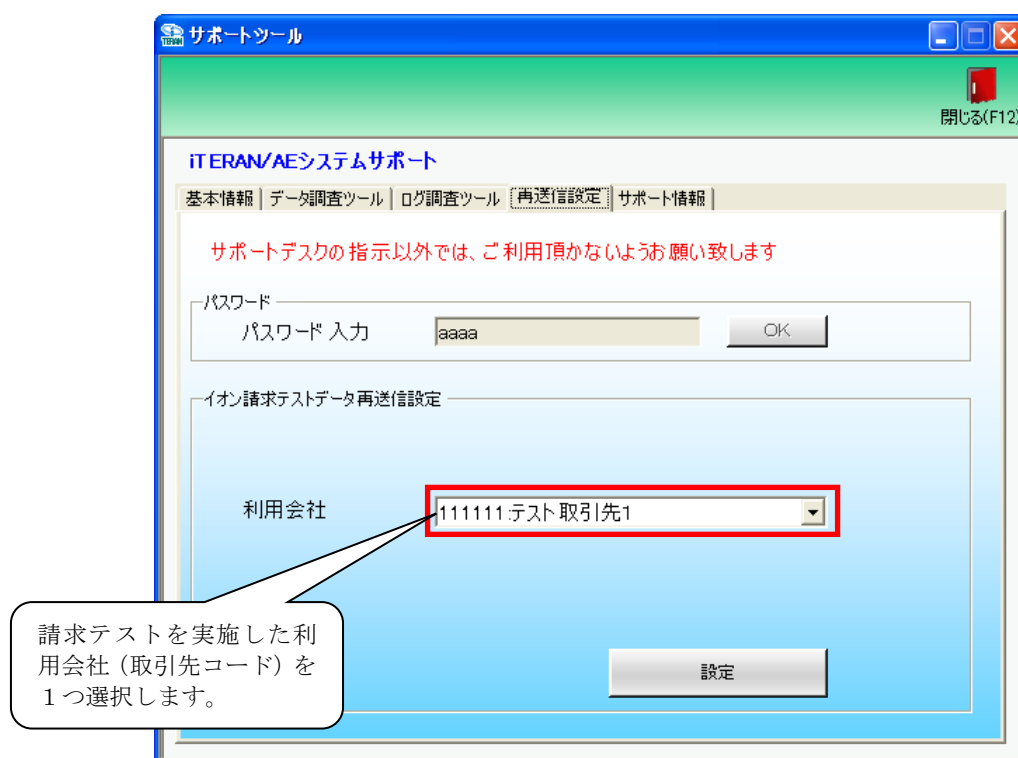


7-2-3. 「パスワード入力」テキストボックスに「aaaa」と入力し、「OK」ボタンを押します。

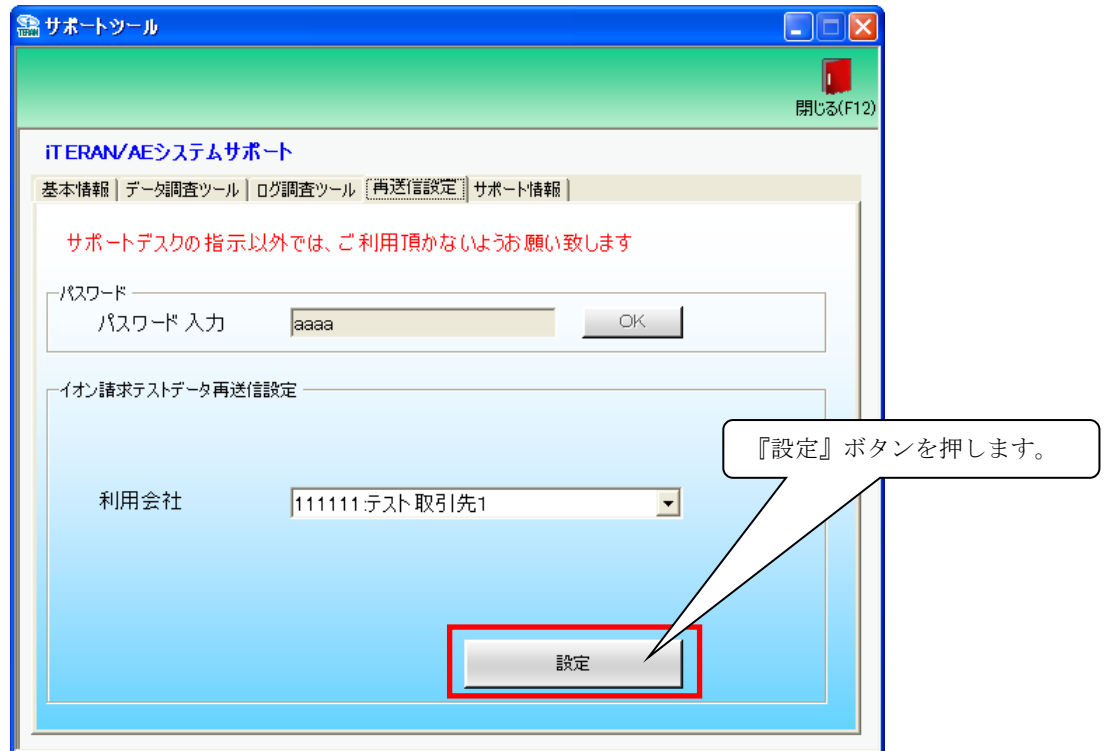


7-2-4. 設定する「利用会社」（取引先コード）を選択します。

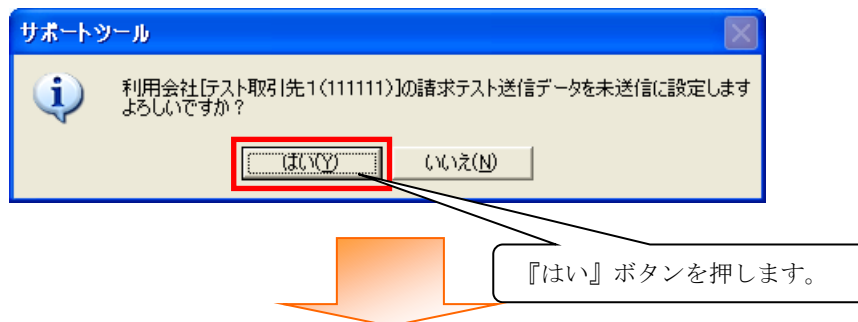
※ 請求テストを実施した利用会社全てで設定を実施する必要があります。



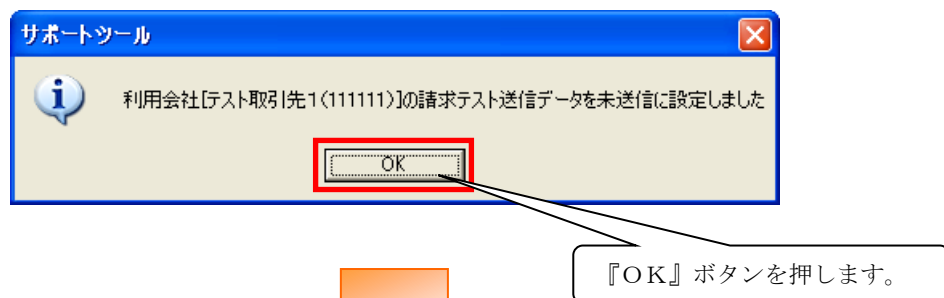
7-2-5. 「設定」 ボタンを押します。



7-2-6. 処理確認メッセージが表示されます。「はい」 ボタンを押します。

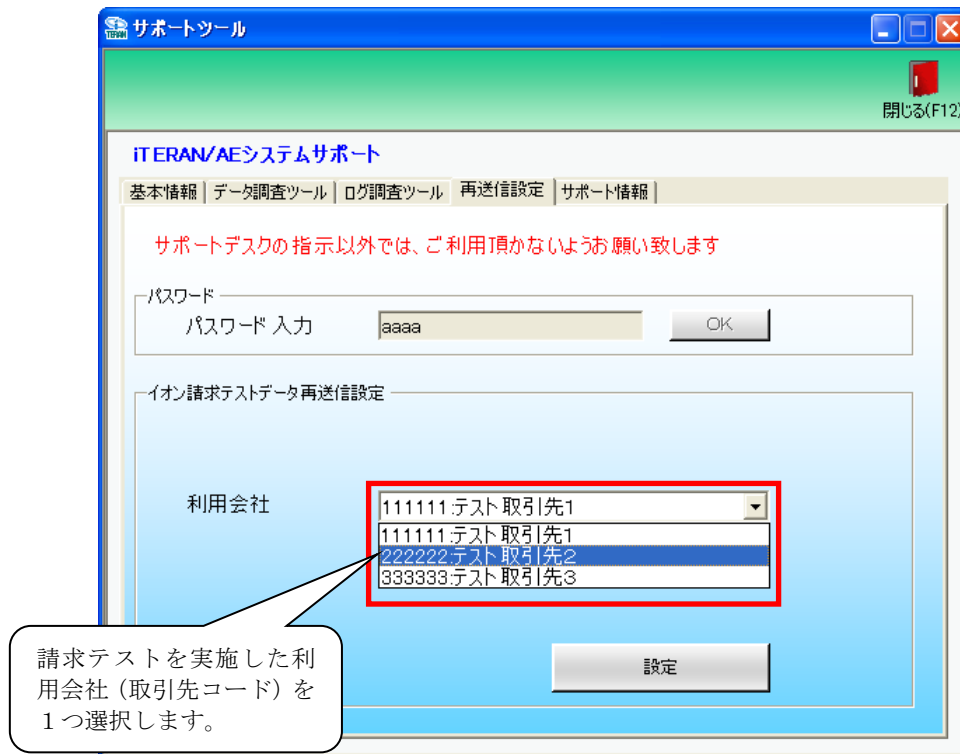


7-2-7. 処理完了メッセージが表示されます。「OK」 ボタンを押します。



7-2-8. 複数取引先コードをお持ちで、請求テストを複数取引先コードで行った場合、他の取引先コードも選択し、「7-2-4」～「7-2-7」を実施してください。

※ 請求テストを複数取引先コードで実施していない場合は必要ありません。



7-2-9. 請求テストを実施した全ての利用会社（取引先コード）の設定が終了したら「閉じる」ボタンで画面を閉じてください。

7-3. 本番運用開始時の注意事項

7-3-1. 本番運用開始時の注意事項

P 3 1「7-1. iTERAN/AE の請求送信モード切替」、P 3 3「7-2. テストで送信したデータを本番モードで送信するための準備」を必ず本番運用開始前に実施してください。

7-3-2. 請求データ作成時の注意事項

「請求予定作成」画面にて請求データを作成する際、「作成」ボタンを押下後に必ず計上日で範囲を絞ってください。

計上日を絞り込み表示を行うことにより、請求漏れや二重請求を防ぎます。

例：4/20 締め日の場合

計上日絞り込み条件：[20120321]（2012年3月21日）～[20120420]（2012年4月20日）

請求予定作成

作成(F2) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マスタ(F10) 支払法人マスタ(F11) 請求予定リスト(F6) 開じる(F12)

請求サマリ情報

総伝票件数計	0	総請求金額合計	0
支払法人	伝票件数計	請求金額合計	計上部署

支払法人

計上部署	伝票件数計	請求金額合計	一覧
------	-------	--------	----

請求データ絞込条件

請求フラグ区分: 0請求対象外 請求内容: 0未請求データ 計上日: 20120321 ~ 20120420 取引番号: ~ 取得

請求データ一覧

ED請求		ED外請求		支払法人コード		発注者コード		計上部署名		商品分類(中)		税額		税率		請求区分	
対象	請求状態	取引番号	取引先名	取引先コード	支払法人名	発注者名	計上部署名	商品分類(中)	税額	税率	請求区分	支払内容	請求区分				
0未請求	20120420	111111	テストリキサキ1	0105	イオンテール GMS	イオンテール GMS	1002	11	44,000	02原価外税2	1001仕入明						
	900002	111111	テストリキサキ1	0105	イオンテール GMS	イオンテール GMS	1001	11	2,200	02原価外税2	1001仕入明						
0未請求	20120413	111111	テストリキサキ1	0105	イオンテール GMS	イオンテール GMS	1002	11	44,000	02原価外税2	1001仕入明						
	900026	111111	テストリキサキ1	0105	イオンテール GMS	イオンテール GMS	1001	11	2,200	02原価外税2	1001仕入明						
0未請求	20120413	111111	テストリキサキ1	0105	イオンテール GMS	イオンテール GMS	1002	11	54,000	02原価外税2	1001仕入明						
	900026	111111	テストリキサキ1	0105	イオンテール GMS	イオンテール GMS	1003	11	2,700	02原価外税2	1001仕入明						
0未請求	20120413	111111	テストリキサキ1	0105	イオンテール GMS	イオンテール GMS	1003	11	21,000	02原価外税2	1001仕入明						
	900027	111111	テストリキサキ1	0105	イオンテール GMS	イオンテール GMS	1003	11	1,050	02原価外税2	1001仕入明						

一括してチェックする 一括してチェックを外す 請求対象データを更新

計上日の範囲を絞ります。

補足 1. 作成した請求データの伝票数を変更する

請求対象に追加した請求先（支払法人）の「伝票件数計」が30伝票を超えた、または10伝票よりも少ない場合は10～30伝票に伝票数を変更する必要があります。

※ 請求候補データが9伝票以下の場合、全ての伝票にチェックしてあれば問題はありません。

※ 対象の請求先（支払法人）の対象伝票数が30伝票を超え、請求データを作成し送信した場合、請求テストが不合格になりますのでご注意ください。

補足 1－1. 「請求データ絞込み条件」の「請求フラグ区分」から「1：請求対象」を選択します。

請求予定作成

作成(F4) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マスク(F10) 支払法人マスク(F11) 請求予定リスト(F6) 閉じる(F12)

請求サマリ情報

総伝票件数計	31	総請求金額合計	1,034,100
支払法人	0105-イオン株式会社	伝票件数計	31
		請求金額合計	1,034,100
		計上部署	表示

支払法人

計上部署	伝票件数計	請求金額合計	一覧

請求データ絞込み条件

請求フラグ区分: 0請求対象外, 1請求対象, 2両方

支払法人: 0105-イオン株式会社

請求内容: 0未請求データ

計上日: ~

取引先: ~

取得

請求データ一覧

対象	請求状態	計上日	取引先	取引先名	発注者	発注者名	計上部署	商品分類(大)	請求金額	税区分	税率	支払内容	請求区分

一括してチェックする 一括してチェックを外す

請求対象データを更新

『請求フラグ区分』から『1：請求対象』を選択します。



補足 1－2. 「請求データ一覧」に請求対象に追加した請求データの一覧が表示されます。

請求予定作成

請求サマリ情報

総伝票件数計		総請求金額合計	
31	1,034,100		

支払法人

計上部署	伝票件数計	請求金額合計	一覧
0105-イオン GM	31	1,034,100	表示

請求データ検索条件

請求フラグ区分: 1 請求対象 | 請求内容: 0 未請求データ | 支払法人: 0105-イオン GM | 計上部署: | 取得

請求データ一覧

対象	請求状態	計上日	取引先コード	取引先名	支払法人コード	支払法人名	発注者コード	発注者名	計上部署	商品分類(大)	商品分類(中)	請求金額	税区分	税率	支払内容	請求区分
☒	未請求	20120413	111111	テストヒキサキ1	0105	イオン GM	0105	イオン GM	1001	11	999	44,000	02-原価外税2		1001-仕入明	
☒	未請求	20120413	111111	テストヒキサキ1	0105	イオン GM	0105	イオン GM	1002	11	999	54,000	02-原価外税2		1001-仕入明	
☒	未請求	20120413	111111	テストヒキサキ1	0105	イオン GM	0105	イオン GM	1003	11	999	21,000	02-原価外税2		1001-仕入明	
☒	未請求	20120412	111111	テストヒキサキ1	0105	イオン GM	0105	イオン GM	1004	11	999	44,000	02-原価外税2		1001-仕入明	

一括してチェックする | 一括してチェックを外す | 請求対象データを更新

補足 1－3. 請求対象データが10～30伝票になるように「対象」のチェックを変更します。

請求予定作成

請求サマリ情報

総伝票件数計		総請求金額合計	
31	1,034,100		

支払法人

計上部署	伝票件数計	請求金額合計	一覧
0105-イオン GM	31	1,034,100	表示

請求データ検索条件

請求フラグ区分: 1 請求対象 | 請求内容: 0 未請求データ | 計上日: | ~ | | 取引先番号: | ~ | | 取得

請求データ一覧

対象	請求状態	計上日	取引先コード	取引先名	支払法人コード	支払法人名	発注者コード	発注者名	計上部署	商品分類(大)	商品分類(中)	請求金額	税区分	税率	支払内容	請求区分
☒	未請求	20120401	900001							11	999	21,000	02-原価外税2		1001-仕入明	
☒	未請求	20120401	900002							11	999	44,000	02-原価外税2		1001-仕入明	
☒	未請求	20120405	900002							11	999	2,200	02-原価外税2		1001-仕入明	
☒	未請求	20120405	900002							11	999	54,000	02-原価外税2		1001-仕入明	
☒	未請求	20120405	900002							11	999	2,700	02-原価外税2		1001-仕入明	
☐	未請求	20120405	900088							11	999	21,000	02-原価外税2		1001-仕入明	

一括してチェックする | 一括してチェックを外す | 請求対象データを更新

補足 1－4. 「請求対象データを更新」 ボタンを押します。



補足 1－5. 更新完了メッセージが表示されます。OKボタンを押してください。



補足 1－6．請求対象に追加した請求先（支払法人）の「伝票件数計」を確認し、10～30 伝票になっていることを確認してください。

請求予定作成

作成(F2) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マス(F10) 支払法人マス(F11) 請求予定リスト(F6) 閉じる(F12)

請求サマリ情報

総伝票件数計	30	総請求金額合計	1,013,100
--------	----	---------	-----------

支払法人

支払法人	伝票件数計	請求金額合計	計上部署
0105-イオンテール GM	30	1,013,100	表示

請求データ絞込条件

請求フラグ区分: 1: 請求対象 請求内容: 請求データ 計上日: ~ 支払法人: 0105-イオンテール GM 計上部署: 取引番号: ~ 取得

請求データ一覧

対象	請求状態	計上日	取引先コード	取引先名	支払法人コード	支払法人名	支払内容
0: 未請求	20120413	111111	0105	イオンテール GM	イオンテール GM	001: 仕入明	
0: 未請求	20120413	111111	0105	イオンテール GM	イオンテール GM	001: 仕入明	
0: 未請求	20120413	111111	0105	イオンテール GM	イオンテール GM	001: 仕入明	
0: 未請求	20120412	111111	0105	イオンテール GM	イオンテール GM	001: 仕入明	

一括してチェックする 一括してチェックを外す 請求対象データを更新

補足 1－7．「請求データ絞込み条件」の「請求フラグ区分」から「0：請求対象外」を選択します。

請求予定作成

作成(F2) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マス(F10) 支払法人マス(F11) 請求予定リスト(F6) 閉じる(F12)

請求サマリ情報

総伝票件数計	30	総請求金額合計	1,013,100
--------	----	---------	-----------

支払法人

支払法人	伝票件数計	請求金額合計	計上部署
0105-イオンテール GM	30	1,013,100	表示

請求データ絞込条件

請求フラグ区分: 0: 請求対象外 請求内容: 0: 未請求データ 計上日: ~ 支払法人: 0105-イオンテール GM 計上部署: 取引番号: ~ 取得

請求データ一覧

対象	請求状態	計上日	取引先コード	取引先名	支払法人コード	支払法人名	支払内容
0: 未請求	20120413	111111	0105	イオンテール GM	イオンテール GM	001: 仕入明	
0: 未請求	20120413	111111	0105	イオンテール GM	イオンテール GM	001: 仕入明	
0: 未請求	20120413	111111	0105	イオンテール GM	イオンテール GM	001: 仕入明	
0: 未請求	20120412	111111	0105	イオンテール GM	イオンテール GM	001: 仕入明	

一括してチェックする 一括してチェックを外す 請求対象データを更新

補足 1－8．「4－1－10」の請求データの作成手順に戻ります。

補足 2. 請求再テスト前の準備

請求テストで不合格だった場合、請求テストを再度実施します。

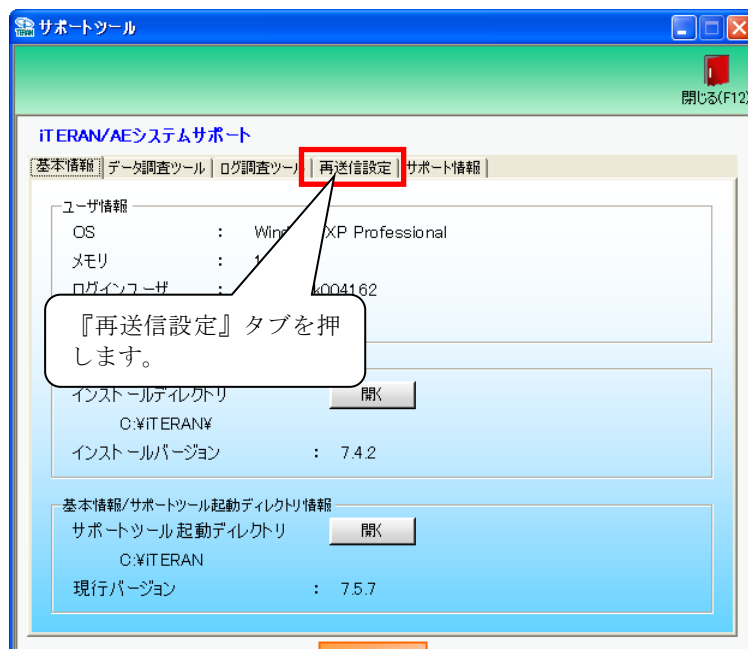
再度テストを実施するためには、iTERAN/AE 上で請求送信されたデータを請求テストが実施される前の状態に戻す必要があります。

下記に従い、送信した請求データを請求テストが実施される前の状態に戻します。

補足 2-1. iTERAN/AE を起動後、「システム情報」ボタンを押します。



補足 2-2. 「再送信設定」タブを押します。

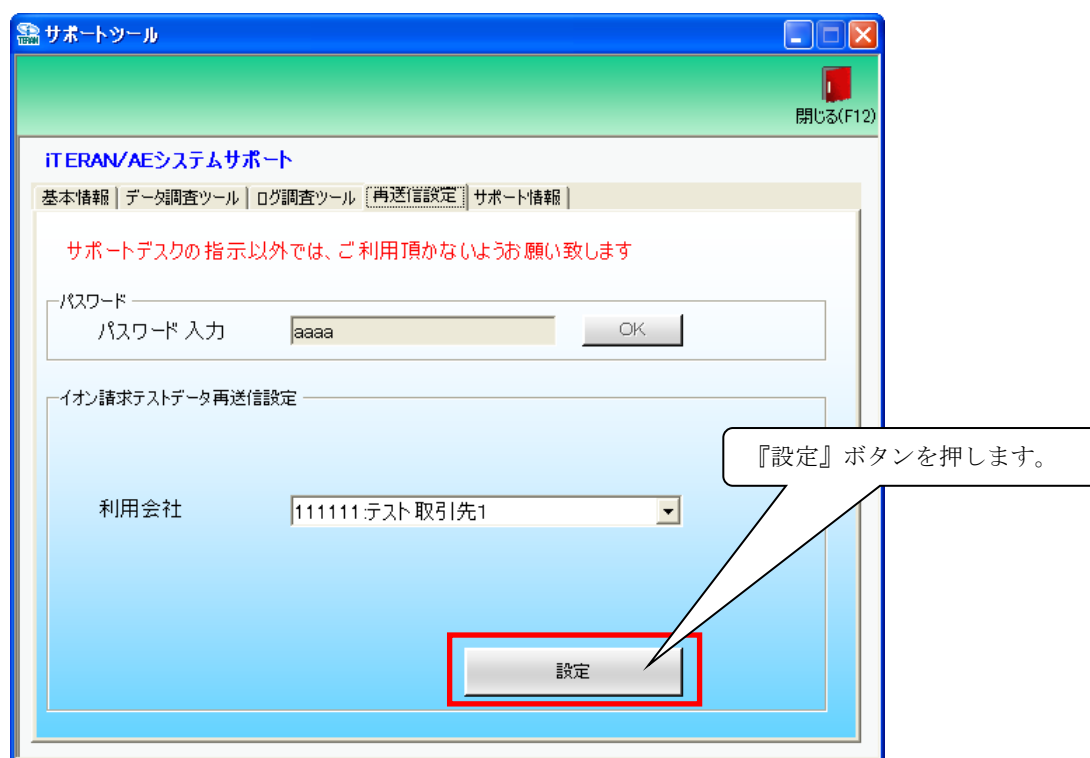




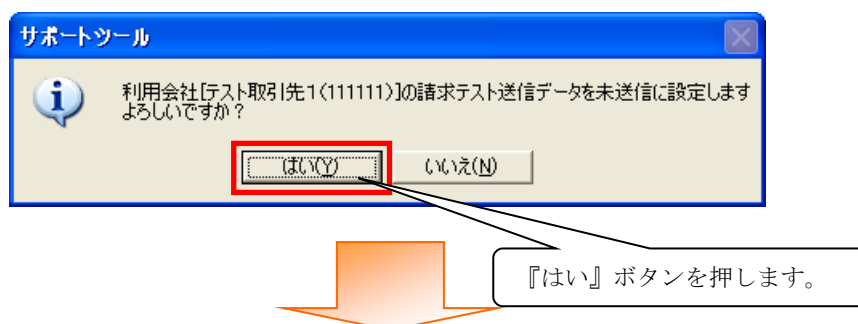
※ 請求テストを実施した利用会社全てで設定を実施する必要があります。



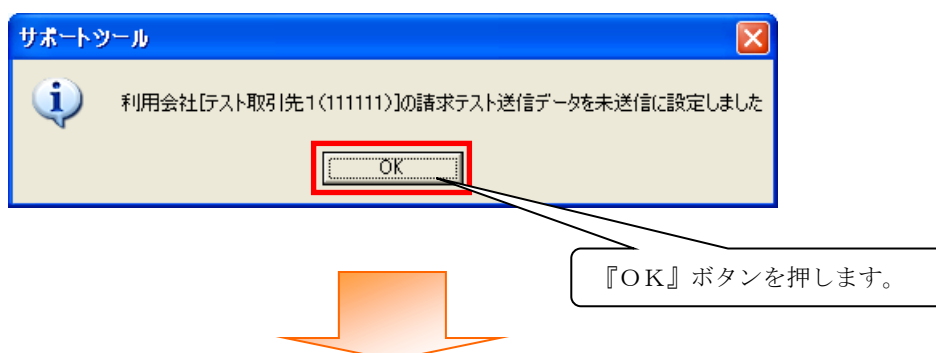
補足 2-5. 「設定」 ボタンを押します。



補足 2-6. 処理確認メッセージが表示されます。「はい」 ボタンを押します。

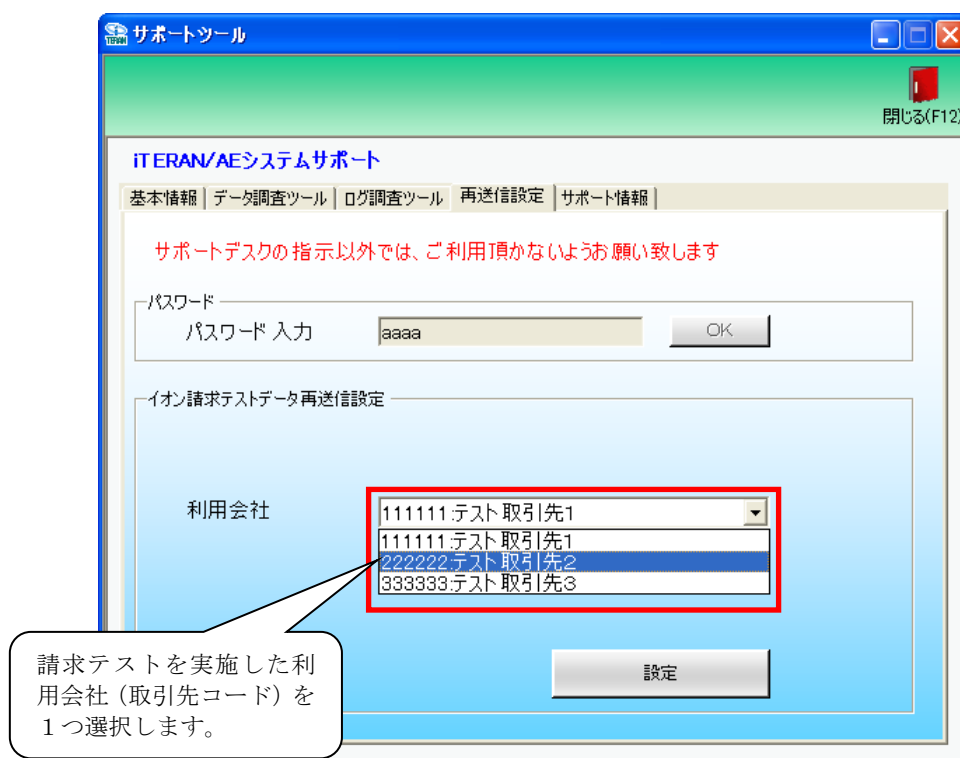


補足 2-7. 処理完了メッセージが表示されます。「OK」 ボタンを押します。



補足 2－8. 複数取引先コードをお持ちで、請求テストを複数取引先コードで行った場合、他の取引先コードも選択し、「補足 2－4」～「補足 2－7」を実施してください。

※ 請求テストを複数取引先コードで実施していない場合は必要ありません。



補足 2－9. 請求テストを実施した全ての利用会社（取引先コード）の設定が終了したら「閉じる」ボタンで画面を閉じてください。

以上で、請求テストで不合格だった場合の請求再テスト前の準備は終了です。
再度、P 5「4. 請求データの作成」から請求再テストを実施してください。

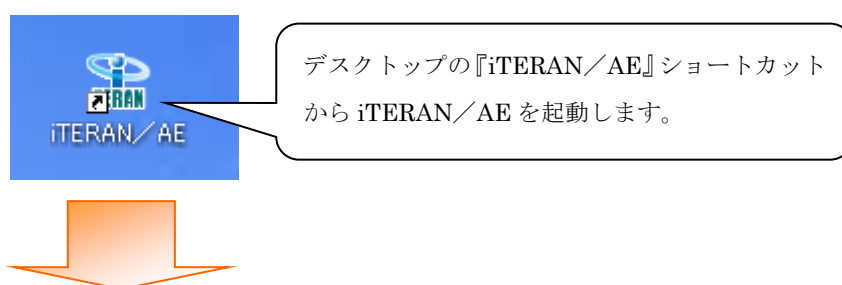
補足 3. バージョンアップ手順

以下の手順に従い、バージョンアップを実施します。

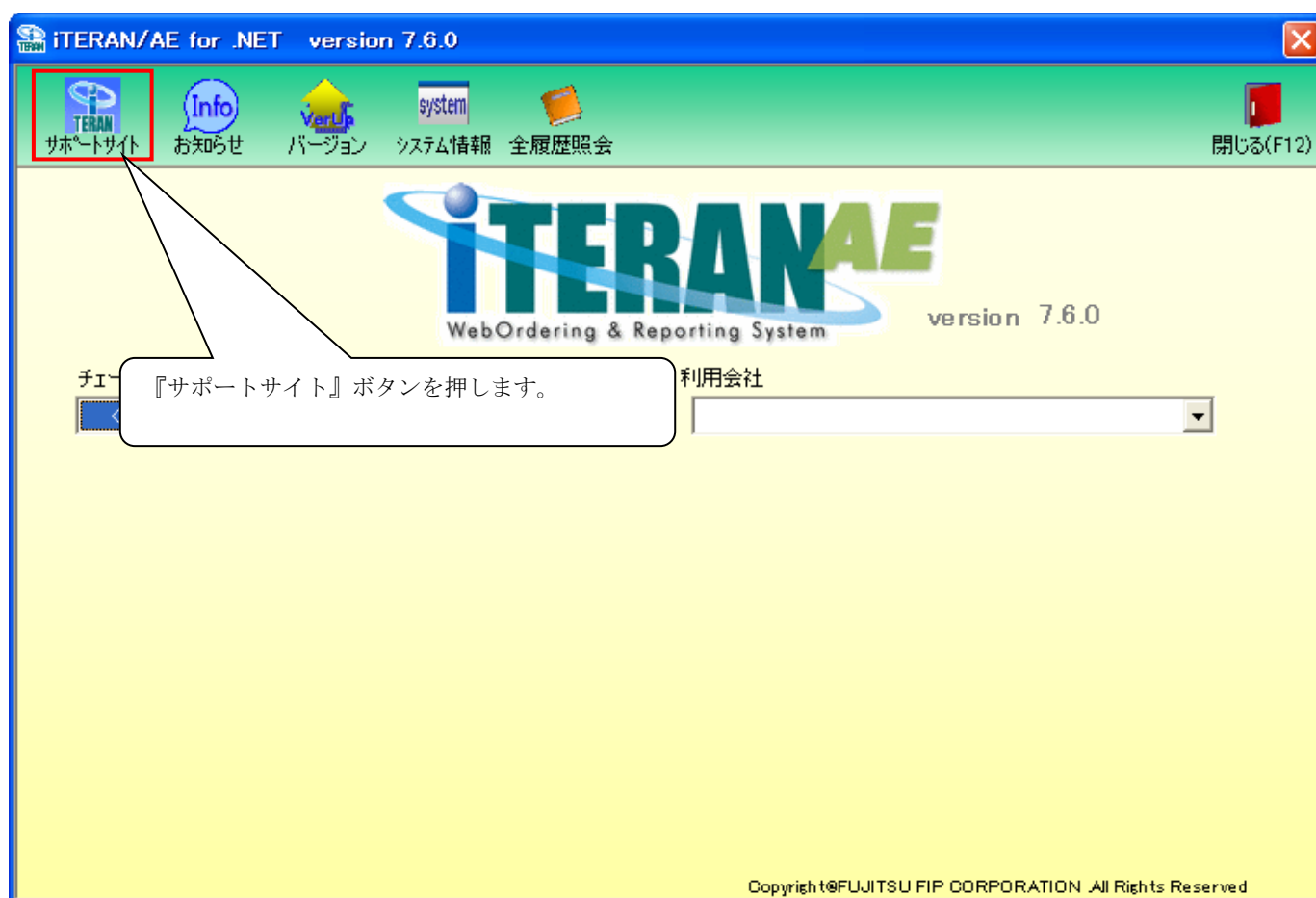
iTERAN/AE のインストールされている P C で実施してください。

※必ず管理者権限のあるユーザで実施してください。

補足 3-1. iTERAN/AE を起動します。



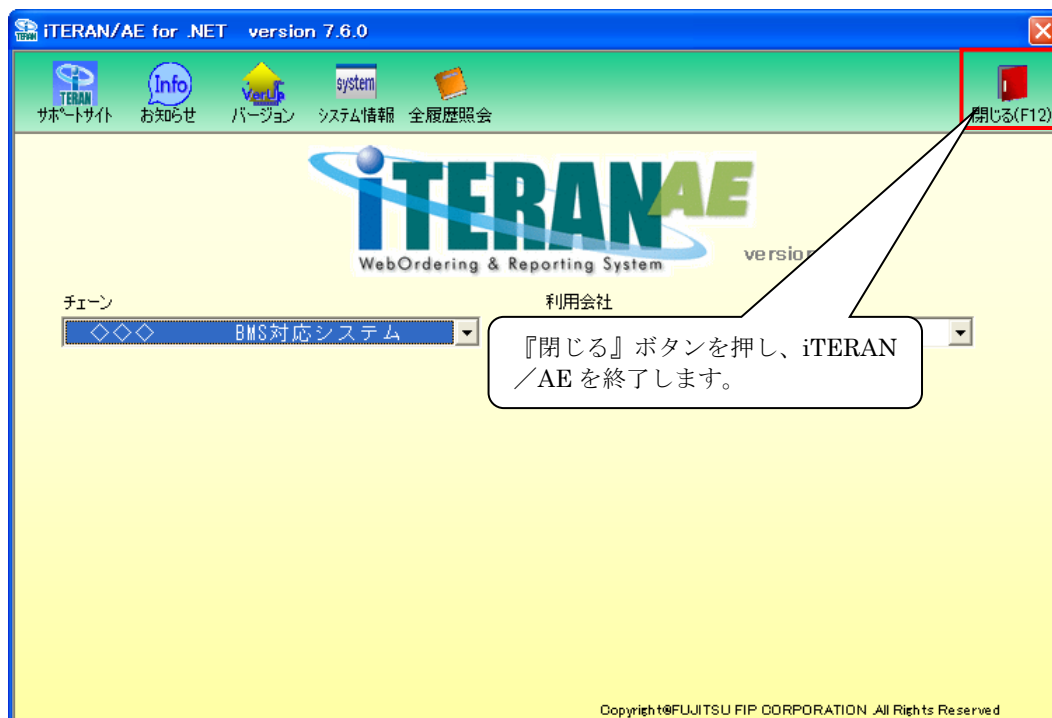
補足 3-2. メインメニューの「サポートサイト」ボタンを押します。



補足 3－3. WEB ブラウザで iTERAN サポートサイトが表示されます。



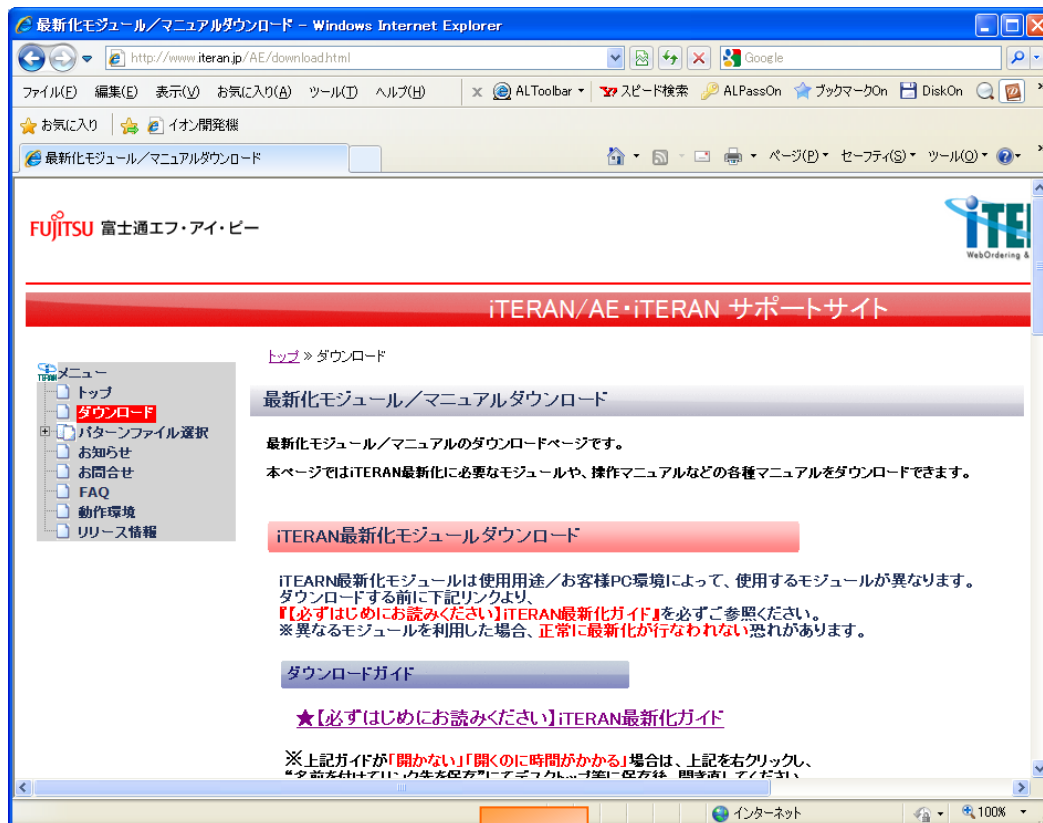
補足 3－4. iTERAN/AE を表示し、「閉じる」ボタンから終了します。



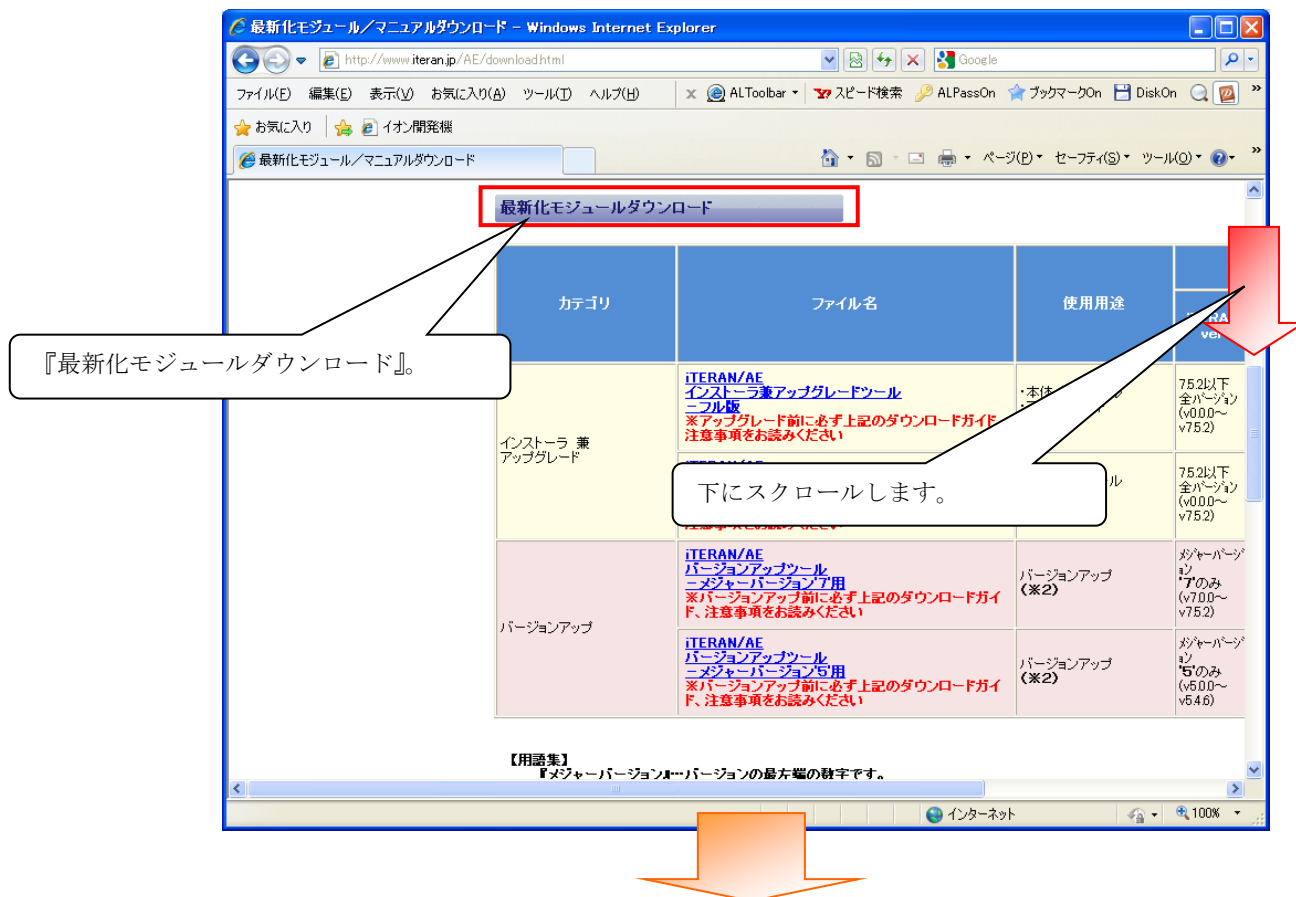
補足 3-5. WEB ブラウザに戻り、左のメニューから「ダウンロード」を押します。



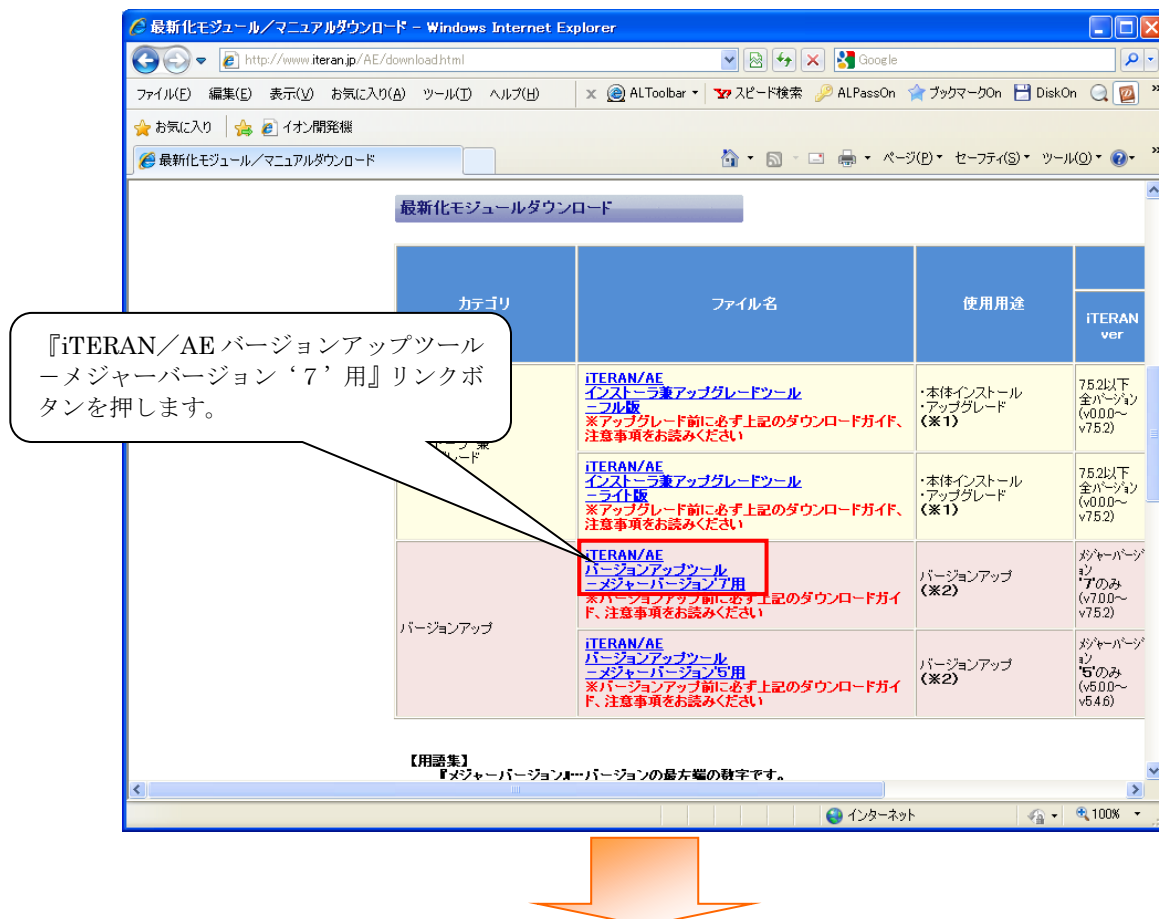
補足 3-6. 「最新化モジュール／マニュアルダウンロード」ページが表示されます。



補足 3-7. 「最新化モジュールダウンロード」が表示されるまで、下にスクロールします。



補足 3-8. 「iTERAN/AE バージョンアップツールーメジャーバージョン ‘7’ 用」を押します。



補足 3－9. 「ファイルのダウンロード－セキュリティの警告」メッセージが表示されます。

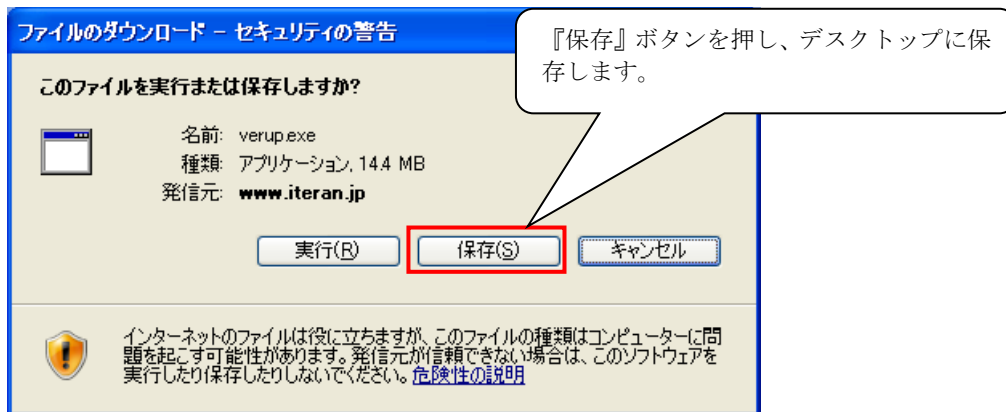
「保存」ボタンを押し、デスクトップに保存します。

※ PC の設定により、当メッセージが表示されないことがあります。

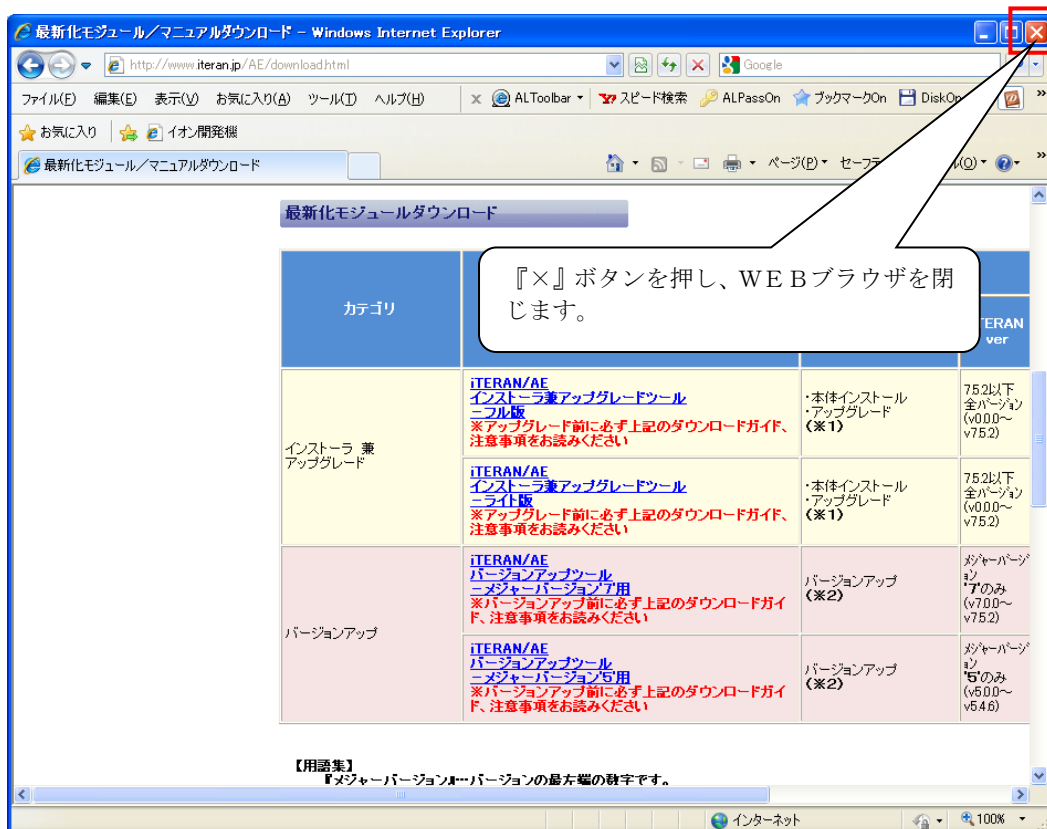
特にダウンロードの設定をしていない場合、以下に保存されます。

Windows XP : 「¥Documents and Settings¥[ユーザ名]¥My Documents¥Downloads」

Windows Vista・Windows 7 : 「¥Users¥[ユーザ名]¥Downloads」



補足 3－10. WEBブラウザを閉じます。



補足 3-1 1. 保存したファイル「verup.exe」をダブルクリックします。

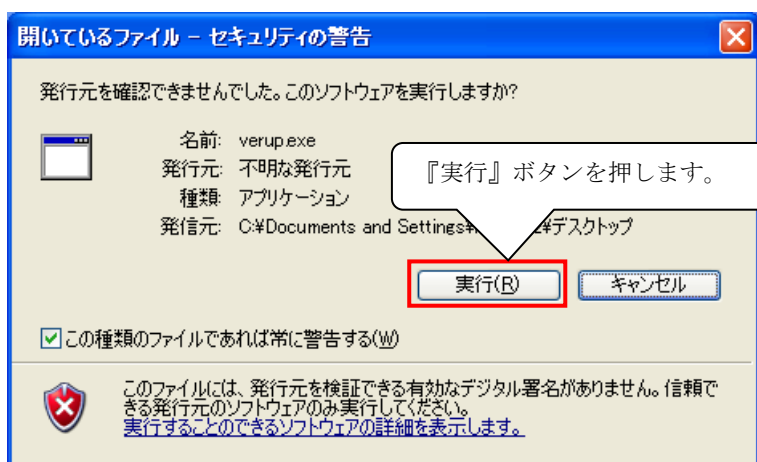


『verup.exe』をダブルクリック。

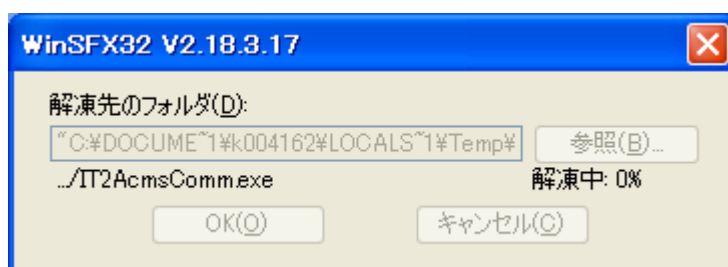


補足 3-1 2. セキュリティの警告メッセージが表示された場合は「実行」ボタンを押します。

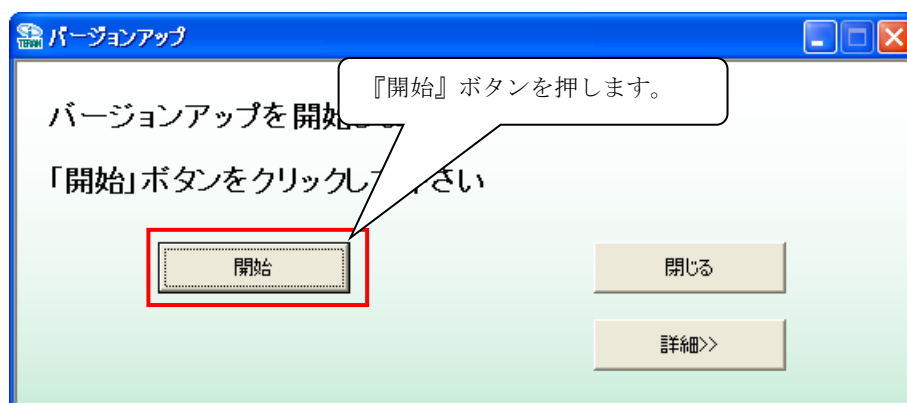
※OS、セキュリティレベルによっては表示されない場合もあります。



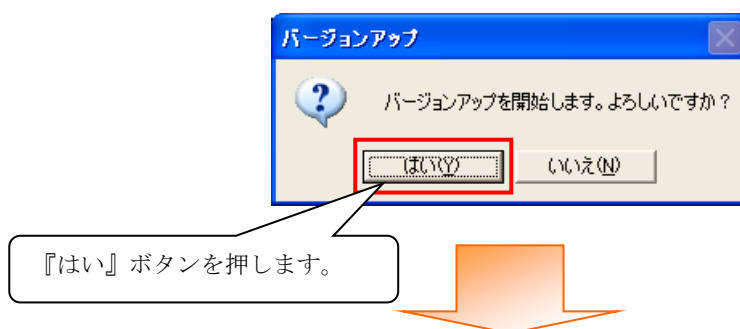
補足 3-1 3. 実行ファイルの展開処理（ファイルの解凍）が実行されます。しばらくお待ちください。



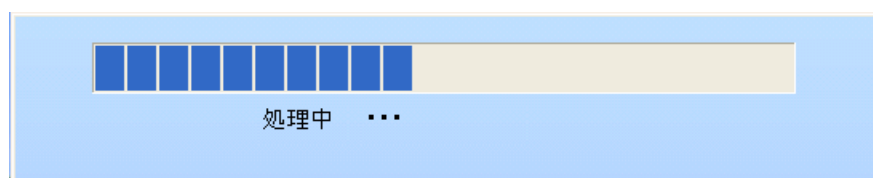
補足 3－1 4．以下の画面が表示されます。「開始」ボタンを押します。



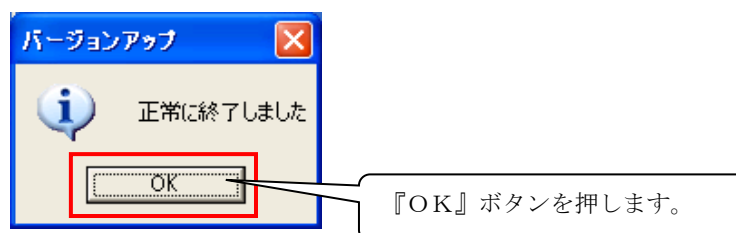
補足 3－1 5．確認メッセージが表示されます。「はい」を押してください。



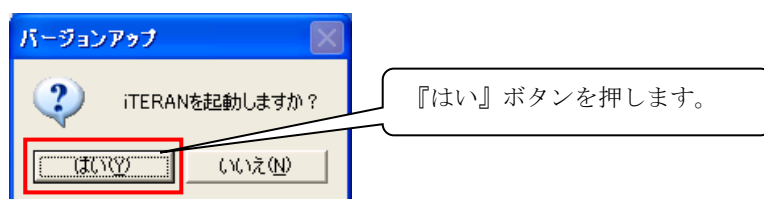
補足 3－1 6．処理が実行されます。しばらくお待ちください。



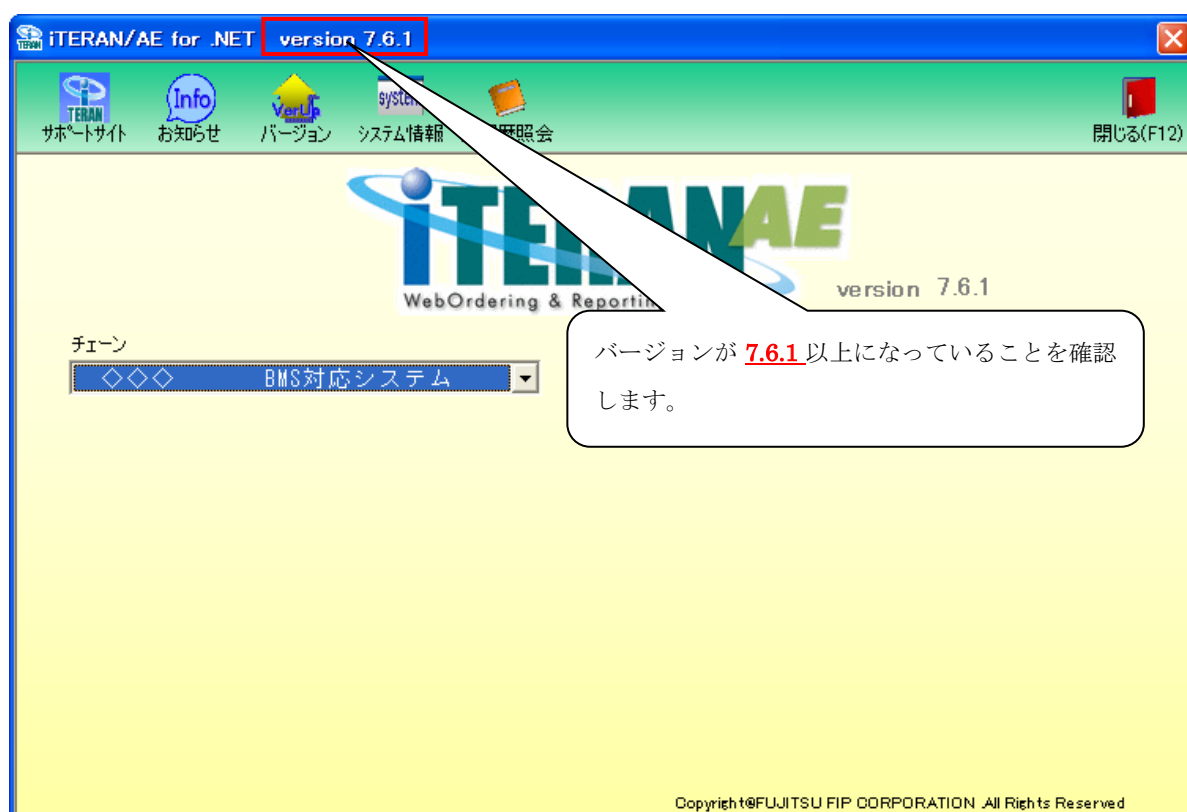
補足 3－1 7．完了メッセージが表示されます。「OK」ボタンを押してください。



補足 3-18. iTERAN 起動メッセージが表示されます。「はい」ボタンを押してください。



補足 3-19. iTERAN/AE が起動します。バージョンアップが正常に行われたことを確認します。
バージョンが 7.6.1 以上になっていることを確認してください。



以上でバージョンアップは完了となります。

ご注意

- ・ 本製品の一部または全部を弊社の書面による許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- ・ 本製品の内容・仕様は訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft、WindowsXP、Windows7、Windows8.1、Windows10、.NET Framework は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

iTERAN/AE

Copyright© 富士通 Japan 株式会社 2020